

リカレント・リスキル教育に関する アンケート調査

調査結果報告書

目次

1. アンケート実施内容のサマリ
2. 回答者情報
3. 回答結果:リカレント・リスキル教育に対する認知及び関心
4. 回答結果:企業における取り組みや課題、教育受講状況
5. 回答結果:獲得したい/させたい知識やスキルの分野
6. 回答結果:プログラムへの要望



1

アンケート実施内容サマリ



アンケート実施内容サマリ

- 本アンケートの実施内容は下記の通り

項目	内容
調査目的	リカレント・リスキル教育に関する実態や要望を把握し、プログラムの開発・改善に活かす
対象者	①東京都市大学卒業生：16,500名 ②企業人事担当：9,412名
調査方法	WEB調査
回答期間	2023/12/21～2024/1/19(30日間)
設問(概要)	①東京都市大学卒業生： 回答者情報、勤務先情報、リカレント・リスキル教育への関心や実態、 講座やプログラムに対する要望 等 ②企業人事担当： 勤務先情報、リカレント・リスキル教育への関心や実態、 講座やプログラムに対する要望 等
回答状況	①東京都市大学卒業生：164名(1.0%) ②企業人事担当：544名(5.8%)

2

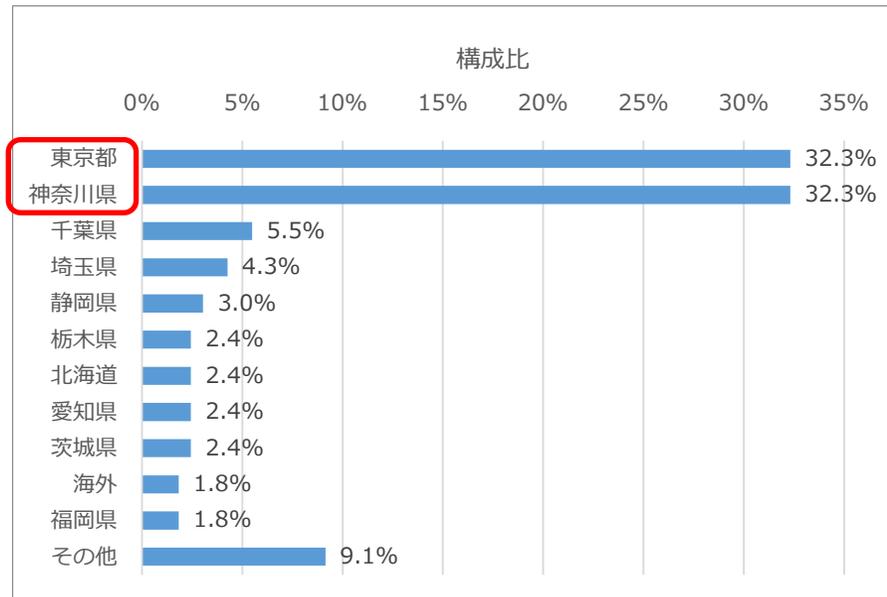
回答者情報



回答者情報(①東京都市大学卒業生)

- 居住地は、東京・神奈川が多い
- 次いで千葉県や埼玉県が多く、関東エリアで約8割となる

【卒業生 Q1】居住地(都道府県)

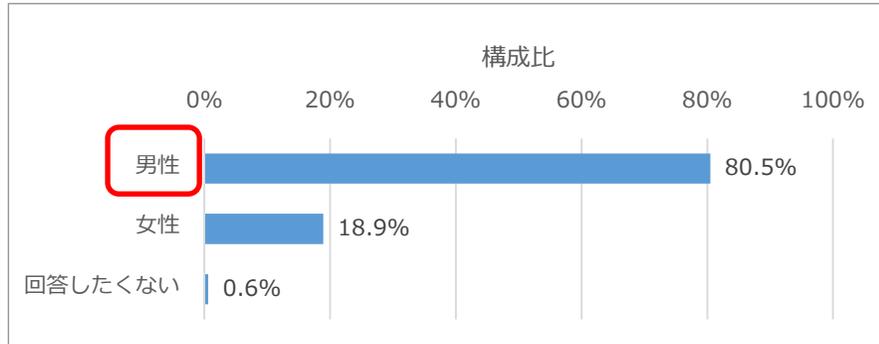


都道府県	回答者数	構成比
東京都	53	32.3%
神奈川県	53	32.3%
千葉県	9	5.5%
埼玉県	7	4.3%
静岡県	5	3.0%
栃木県	4	2.4%
北海道	4	2.4%
愛知県	4	2.4%
茨城県	4	2.4%
海外	3	1.8%
福岡県	3	1.8%
その他	15	9.1%
総計	164	100.0%

回答者情報(①東京都市大学卒業生)

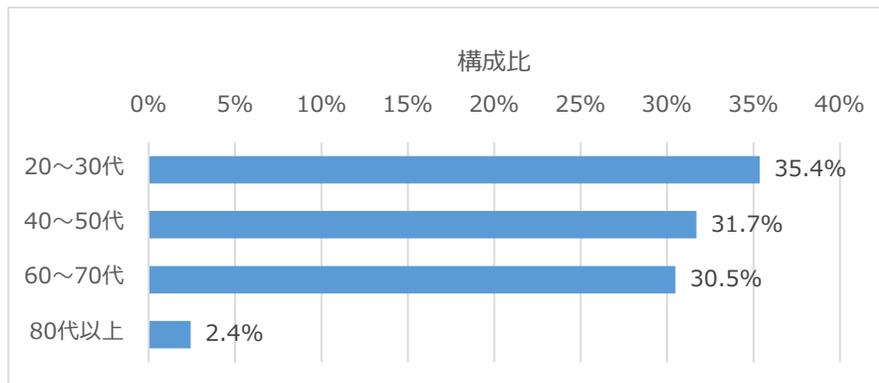
- 性別は男性が80.5%が多い
- 年代別では20～30代、40～50代、60～70代それぞれ3割強

【卒業生 Q3】性別



性別	回答者数	構成比
男性	132	80.5%
女性	31	18.9%
回答したくない	1	0.6%
総計	164	100.0%

【卒業生 Q4】年代



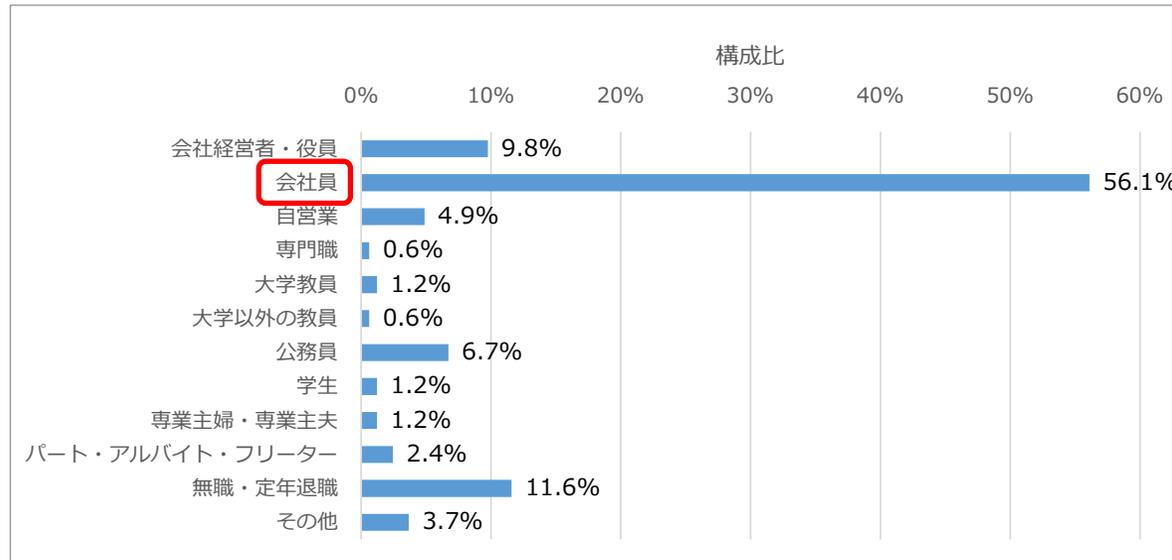
年代	回答者数	構成比
20～30代	58	35.4%
40～50代	52	31.7%
60～70代	50	30.5%
80代以上	4	2.4%
総計	164	100.0%

回答者情報(①東京都市大学卒業生)

- 回答者の職業は“会社員”が最も多く、56.1%となっている

※なお、“学生”、“専業主婦・専業主夫”、“パート・アルバイト・フリーター”、“無職・定年退職”の方は以降Q6～Q9の集計対象から除外します

【卒業生 Q5】職業

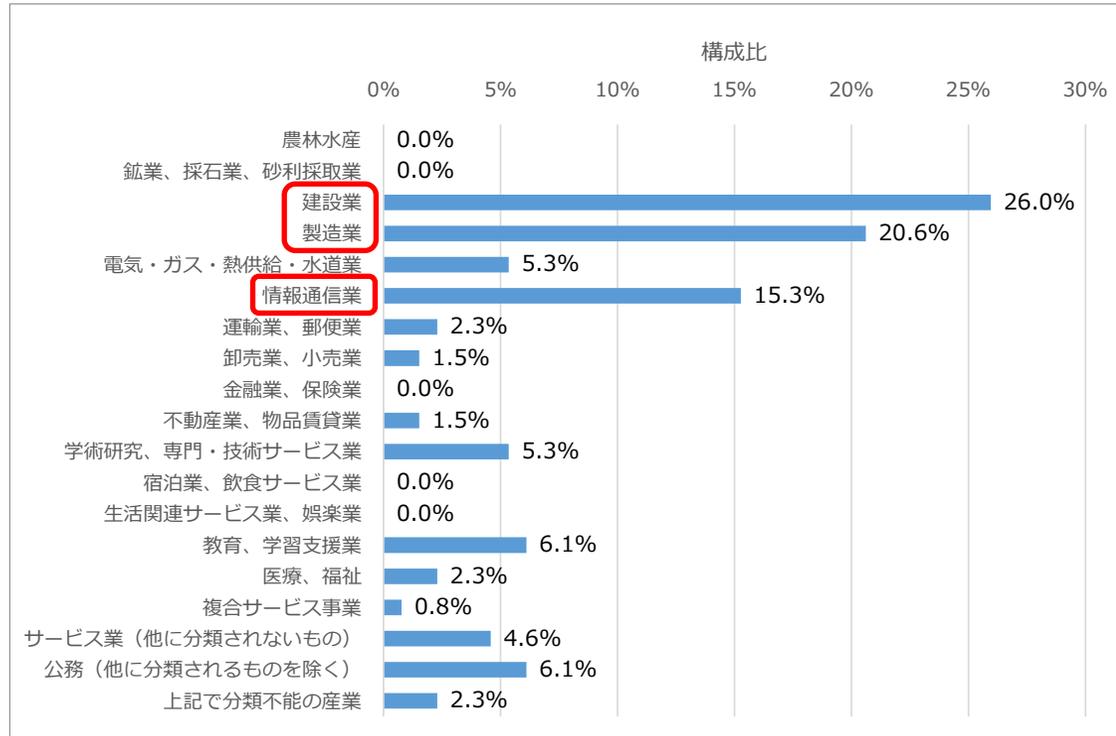


職業	回答者数	構成比
会社経営者・役員	16	9.8%
会社員	92	56.1%
自営業	8	4.9%
専門職	1	0.6%
大学教員	2	1.2%
大学以外の教員	1	0.6%
公務員	11	6.7%
学生	2	1.2%
専業主婦・専業主夫	2	1.2%
パート・アルバイト・フリーター	4	2.4%
無職・定年退職	19	11.6%
その他	6	3.7%
総計	164	100.0%

回答者情報(①東京都市大学卒業生)

- 勤務先の業種は、“建設業”、“製造業”、“情報通信業”が多くなっている

【卒業生 Q6】勤務先の業種



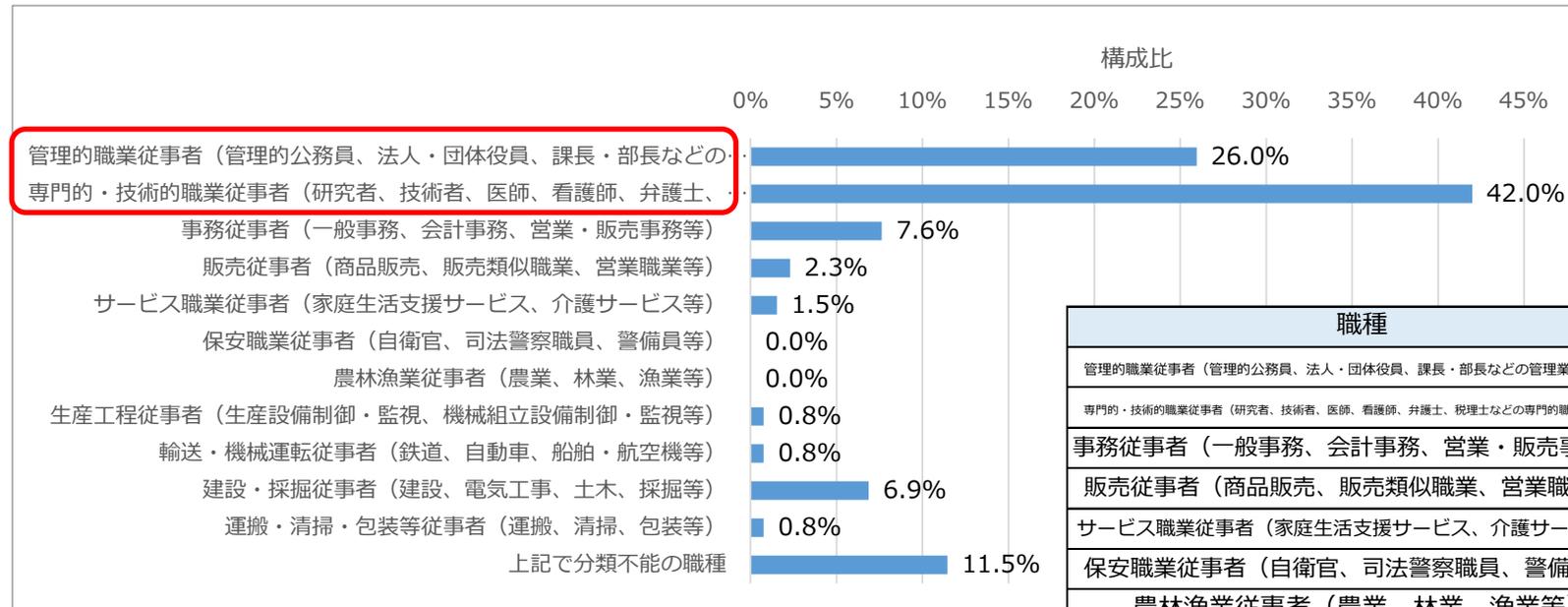
業種	回答者数	構成比
農林水産	0	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
建設業	34	26.0%
製造業	27	20.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	7	5.3%
情報通信業	20	15.3%
運輸業、郵便業	3	2.3%
卸売業、小売業	2	1.5%
金融業、保険業	0	0.0%
不動産業、物品賃貸業	2	1.5%
学術研究、専門・技術サービス業	7	5.3%
宿泊業、飲食サービス業	0	0.0%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
教育、学習支援業	8	6.1%
医療、福祉	3	2.3%
複合サービス事業	1	0.8%
サービス業（他に分類されないもの）	6	4.6%
公務（他に分類されるものを除く）	8	6.1%
上記で分類不能の産業	3	2.3%
総計	131	100.0%

※Q5の回答が“学生”、“専業主婦・専業主夫”、“パート・アルバイト・フリーター”、“無職・定年退職”の方を除く

回答者情報(①東京都市大学卒業生)

- 職種で最も多いのは、“専門的・技術的職業従事者”で42.0%
- 次いで多いのは“管理的職業従事者”で26.0%

【卒業生 Q8】勤務先の職種



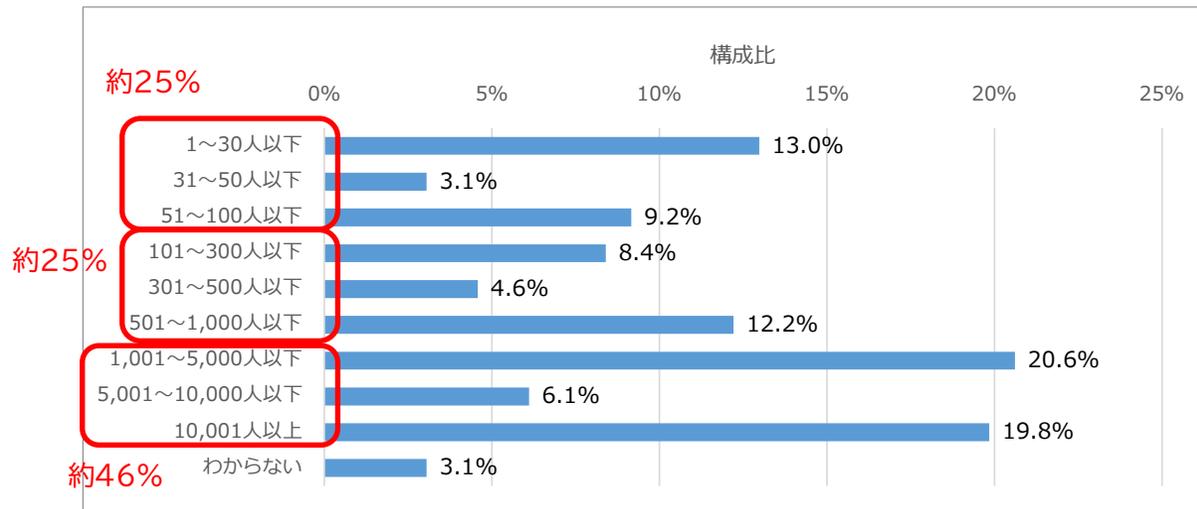
職種	回答者数	構成比
管理的職業従事者（管理的公務員、法人・団体役員、課長・部長などの管理業務従事者）	34	26.0%
専門的・技術的職業従事者（研究者、技術者、医師、看護師、弁護士、税理士などの専門的職業従事者等）	55	42.0%
事務従事者（一般事務、会計事務、営業・販売事務等）	10	7.6%
販売従事者（商品販売、販売類似職業、営業職業等）	3	2.3%
サービス職業従事者（家庭生活支援サービス、介護サービス等）	2	1.5%
保安職業従事者（自衛官、司法警察職員、警備員等）	0	0.0%
農林漁業従事者（農業、林業、漁業等）	0	0.0%
生産工程従事者（生産設備制御・監視、機械組立設備制御・監視等）	1	0.8%
輸送・機械運転従事者（鉄道、自動車、船舶・航空機等）	1	0.8%
建設・採掘従事者（建設、電気工事、土木、採掘等）	9	6.9%
運搬・清掃・包装等従事者（運搬、清掃、包装等）	1	0.8%
上記で分類不能の職種	15	11.5%
総計	131	100.0%

※Q5の回答が“学生”、“専業主婦・専業主夫”、“パート・アルバイト・フリーター”、“無職・定年退職”の方を除く

回答者情報(①東京都市大学卒業生)

- 勤務先の従業員規模は、100人未満(小)で約25%、100人以上1,000人未満(中)で約25%、1,000人以上(大)で約46%の構成比になっている

【卒業生 Q7】勤務先の従業員数



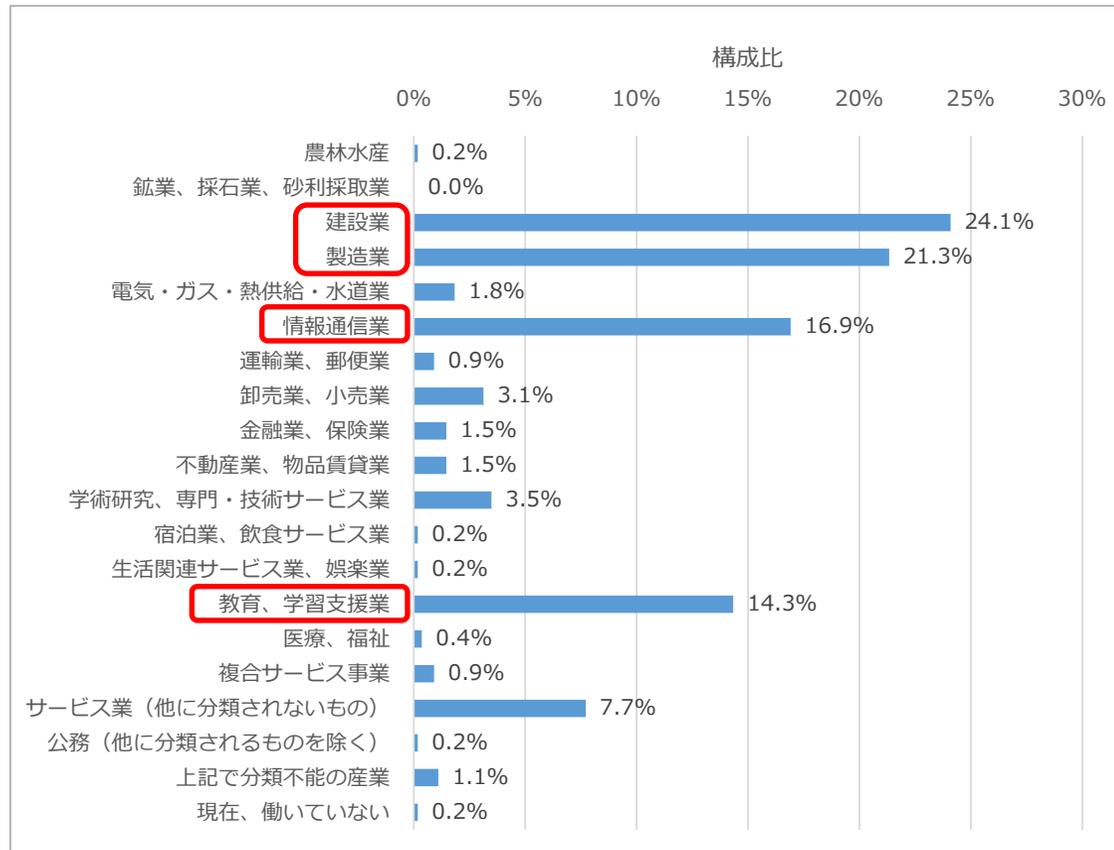
従業員数	回答者数	構成比
1~30人以下	17	13.0%
31~50人以下	4	3.1%
51~100人以下	12	9.2%
101~300人以下	11	8.4%
301~500人以下	6	4.6%
501~1,000人以下	16	12.2%
1,001~5,000人以下	27	20.6%
5,001~10,000人以下	8	6.1%
10,001人以上	26	19.8%
わからない	4	3.1%
総計	131	100.0%

※Q5の回答が“学生”、“専業主婦・専業主夫”、“パート・アルバイト・フリーター”、“無職・定年退職”の方を除く

回答者情報(②企業人事担当)

- 人事担当の方の業種も、卒業生と同様に、“建設業”、“製造業”が多くなっている
- また、“情報通信業”、“教育、学習支援業”の方も比較的多い

【人事担当 Q1】勤務先の業種

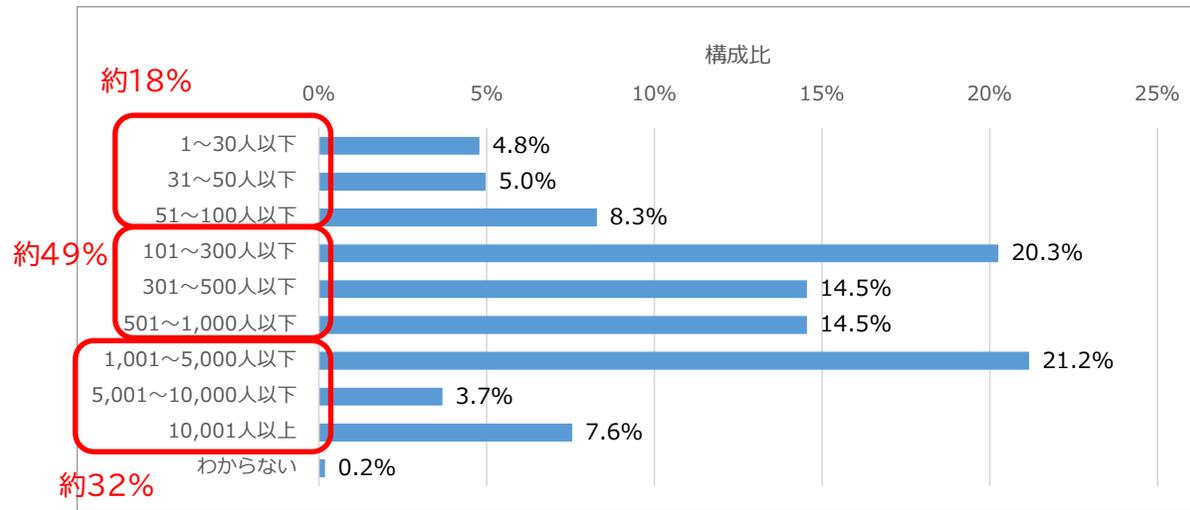


業種	回答者数	構成比
農林水産	1	0.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
建設業	131	24.1%
製造業	116	21.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	10	1.8%
情報通信業	92	16.9%
運輸業、郵便業	5	0.9%
卸売業、小売業	17	3.1%
金融業、保険業	8	1.5%
不動産業、物品賃貸業	8	1.5%
学術研究、専門・技術サービス業	19	3.5%
宿泊業、飲食サービス業	1	0.2%
生活関連サービス業、娯楽業	1	0.2%
教育、学習支援業	78	14.3%
医療、福祉	2	0.4%
複合サービス事業	5	0.9%
サービス業（他に分類されないもの）	42	7.7%
公務（他に分類されるものを除く）	1	0.2%
上記で分類不能の産業	6	1.1%
現在、働いていない	1	0.2%
総計	544	100.0%

回答者情報(②企業人事担当)

- 勤務先の従業員規模は、100人未満(小)で約18%、100人以上1,000人未満(中)で約49%、1,000人以上(大)で約32%の構成比になっている

【人事担当 Q2】勤務先の従業員数



従業員数	回答者数	構成比
1~30人以下	26	4.8%
31~50人以下	27	5.0%
51~100人以下	45	8.3%
101~300人以下	110	20.3%
301~500人以下	79	14.5%
501~1,000人以下	79	14.5%
1,001~5,000人以下	115	21.2%
5,001~10,000人以下	20	3.7%
10,001人以上	41	7.6%
わからない	1	0.2%
総計	543	100.0%

※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

3

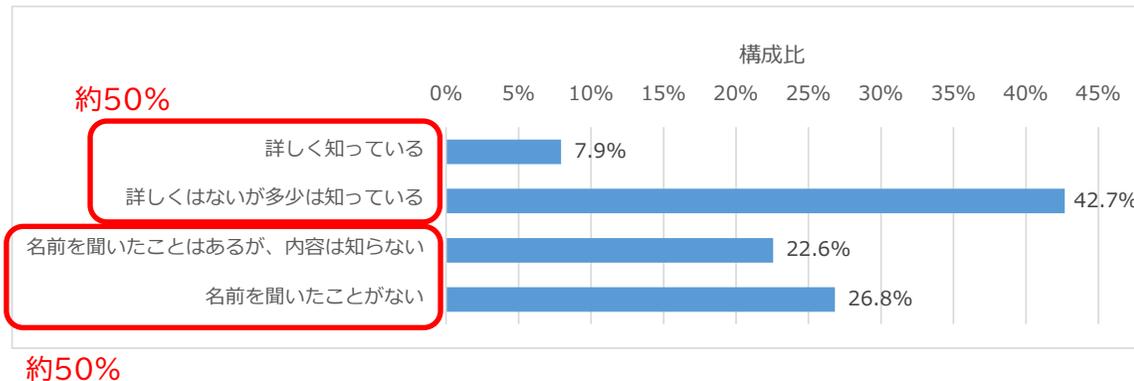
回答結果： リカレント・リスキル教育に対する 認知及び関心



リカレント・リスキル教育の認知(①東京都市大学卒業生)

- 卒業生のリカレント・リスキル教育に対する認知は、全体の42.7%が“詳しくはないが多少は知っている”と回答
- 大別すると、知っている方と知らない方で半々の比率になっている

【卒業生 Q9】あなたは「リカレント・リスキル教育」についてご存じですか。



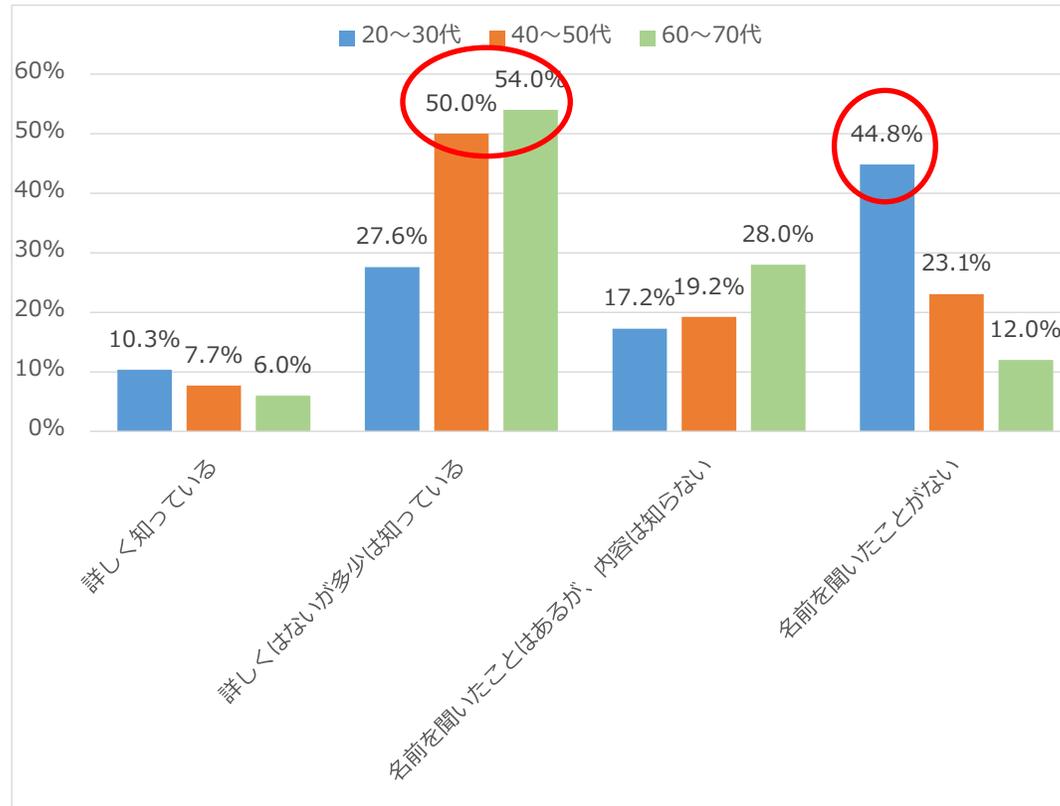
回答内容	回答者数	構成比
詳しく知っている	13	7.9%
詳しくはないが多少は知っている	70	42.7%
名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	37	22.6%
名前を聞いたことがない	44	26.8%
総計	164	100.0%

リカレント・リスキル教育の認知(①東京都市大学卒業生)

※年代別

- 20～30代では、44.8%が“名前を聞いたことがない”と回答しており、世代により認知度が異なる
- 40～50代、60～70代では半数以上が“詳しくはないが多少は知っている”と回答

【卒業生 Q9】あなたは「リカレント・リスキル教育」についてご存じですか。



年代	回答者数計	詳しく知っている	詳しくはないが多少は知っている	名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	名前を聞いたことがない
20～30代	58	6	16	10	26
40～50代	52	4	26	10	12
60～70代	50	3	27	14	6
総計	160	13	69	34	44

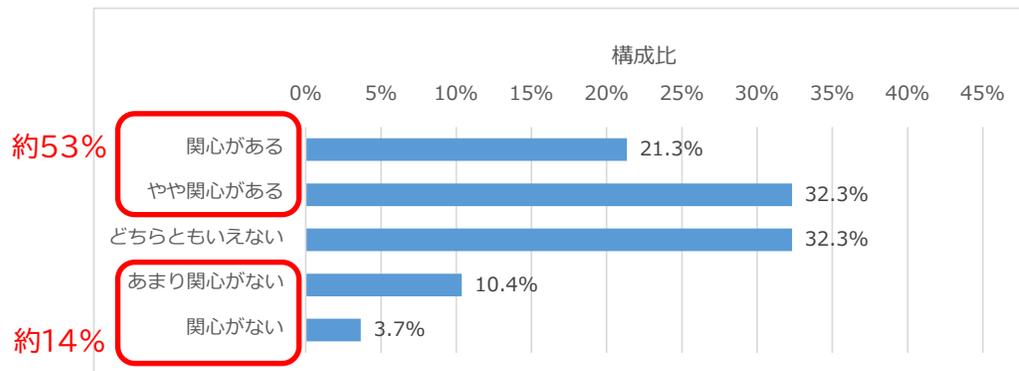
年代	回答者数計	詳しく知っている	詳しくはないが多少は知っている	名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	名前を聞いたことがない
20～30代	100.0%	10.3%	27.6%	17.2%	44.8%
40～50代	100.0%	7.7%	50.0%	19.2%	23.1%
60～70代	100.0%	6.0%	54.0%	28.0%	12.0%
総計	100.0%	8.1%	43.1%	21.3%	27.5%

※Q4(年代)が“80代以上”の方を除く

リカレント・リスキル教育への関心 (①東京都市大学卒業生/②企業人事担当)

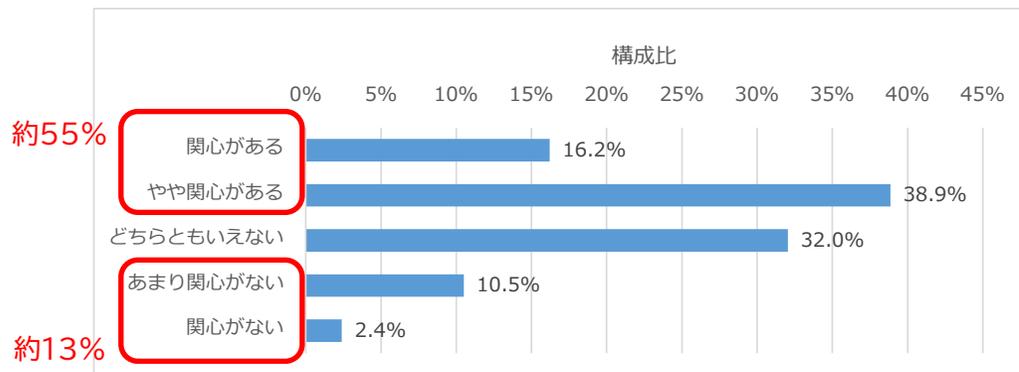
- リカレント・リスキル教育に対する関心は卒業生と企業人事担当のいずれも似た傾向になっている
- 大別すると、関心ありが5割強、関心無しが1割強となっている

【卒業生 Q10】あなたは、大学が開催する「リカレント・リスキル教育」にどの程度関心がありますか。



回答内容	回答者数	構成比
関心がある	35	21.3%
やや関心がある	53	32.3%
どちらともいえない	53	32.3%
あまり関心がない	17	10.4%
関心がない	6	3.7%
総計	164	100.0%

【人事担当 Q3】あなたの勤務先では、大学が開催する「リカレント・リスキル教育」にどの程度関心がありますか。



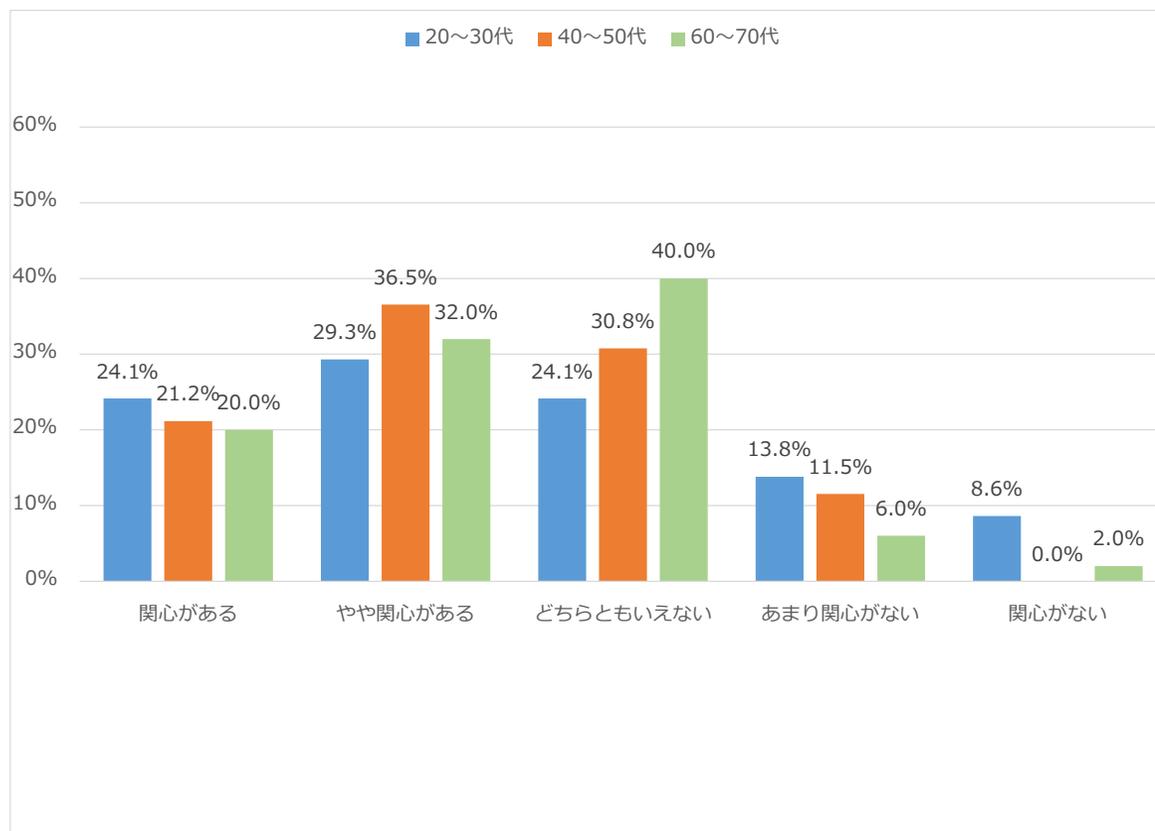
回答内容	回答者数	構成比
関心がある	88	16.2%
やや関心がある	211	38.9%
どちらともいえない	174	32.0%
あまり関心がない	57	10.5%
関心がない	13	2.4%
総計	543	100.0%

※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

リカレント・リスキル教育への関心 (①東京都市大学卒業生) ※年代別

- 年代別で多少傾向の違いはあるが、関心あり(関心がある/やや関心がある)は各世代5割以上
- 年齢層が高いほど“どちらともいえない”の比率が増加

【卒業生 Q10】あなたは、大学が開催する「リカレント・リスキル教育」にどの程度関心がありますか。



※Q4(年代)が“80代以上”の方を除く

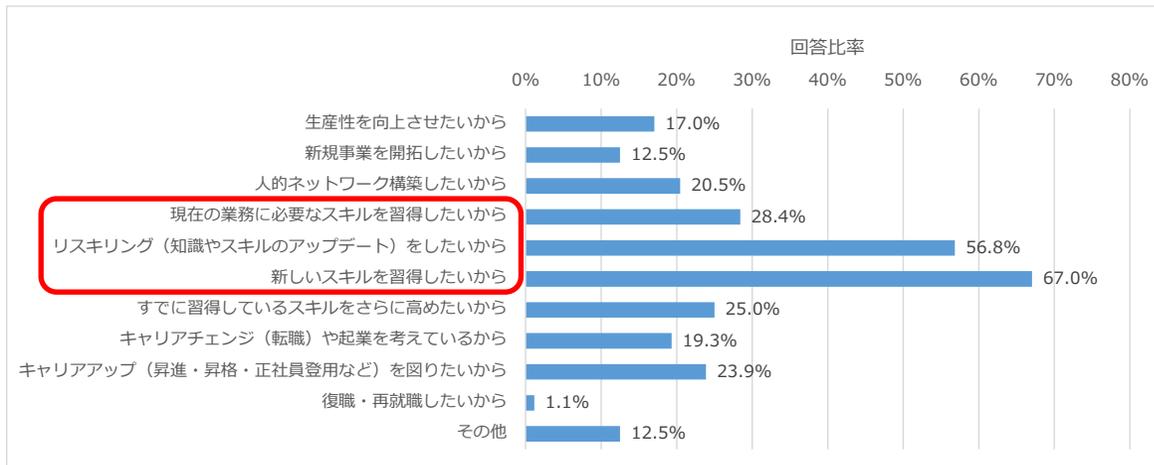
年代	回答者数計	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない
20~30代	58	14	17	14	8	5
40~50代	52	11	19	16	6	0
60~70代	50	10	16	20	3	1
総計	160	35	52	50	17	6

年代	回答者数計	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない
20~30代	100.0%	24.1%	29.3%	24.1%	13.8%	8.6%
40~50代	100.0%	21.2%	36.5%	30.8%	11.5%	0.0%
60~70代	100.0%	20.0%	32.0%	40.0%	6.0%	2.0%
総計	100.0%	21.9%	32.5%	31.3%	10.6%	3.8%

リカレント・リスキル教育への関心の理由 (①東京都市大学卒業生)

- 関心ありの理由は“新しいスキル・知識の習得”といったものが主、関心なしの理由は“時間がない”、“どのような講座が開催されているか情報が無い”、“必要性がない”などの理由が多い

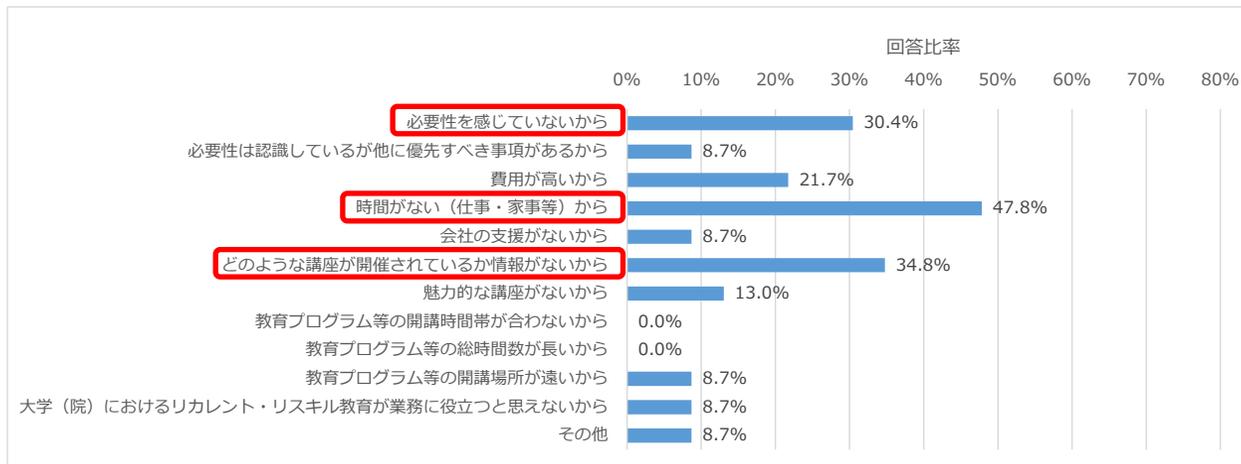
【卒業生 Q11】大学が開催するリカレント・リスキル教育について「Q10 回答(関心あり)」と回答された理由として、あてはまるものをお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
生産性を向上させたいから	15	17.0%
新規事業を開拓したいから	11	12.5%
人的ネットワーク構築したいから	18	20.5%
現在の業務に必要なスキルを習得したいから	25	28.4%
リスキリング(知識やスキルのアップデート)をしたいから	50	56.8%
新しいスキルを習得したいから	59	67.0%
すでに習得しているスキルをさらに高めたいから	22	25.0%
キャリアチェンジ(転職)や起業を考えているから	17	19.3%
キャリアアップ(昇進・昇格・正社員登用など)を図りたいから	21	23.9%
復職・再就職したいから	1	1.1%
その他	11	12.5%
総計	88	100.0%

※Q10の回答が“関心がある”、“やや関心がある”が集計対象

【卒業生 Q12】大学が開催するリカレント・リスキル教育について「Q10 回答(関心なし)」と回答された理由として、あてはまるものをお知らせください。



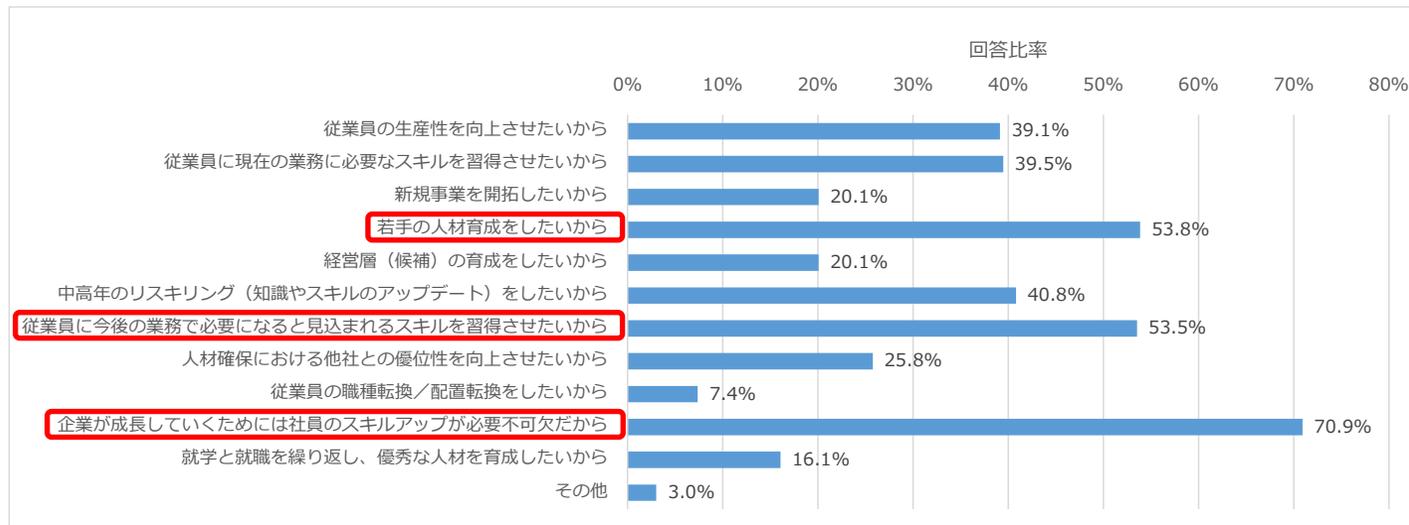
回答内容	回答者数	構成比
必要性を感じていないから	7	30.4%
必要性は認識しているが他に優先すべき事項があるから	2	8.7%
費用が高いから	5	21.7%
時間がない(仕事・家事等)から	11	47.8%
会社の支援がないから	2	8.7%
どのような講座が開催されているか情報が無いから	8	34.8%
魅力的な講座がないから	3	13.0%
教育プログラム等の開講時間帯が合わないから	0	0.0%
教育プログラム等の総時間数が長いから	0	0.0%
教育プログラム等の開講場所が遠いから	2	8.7%
大学(院)におけるリカレント・リスキル教育が業務に役立つと思えないから	2	8.7%
その他	2	8.7%
総計	23	100.0%

※Q10の回答が“あまり関心がない”、“関心がない”が集計対象

リカレント・リスキル教育への関心の理由 (②企業人事担当)

- 関心ありの理由は“企業成長や業務でスキルアップ・習得が必要”や“若手の人材育成”が多く、関心なしの理由は“従業員の関心が低い”、“開催情報がない”、“必要性や優先順位が低い”など

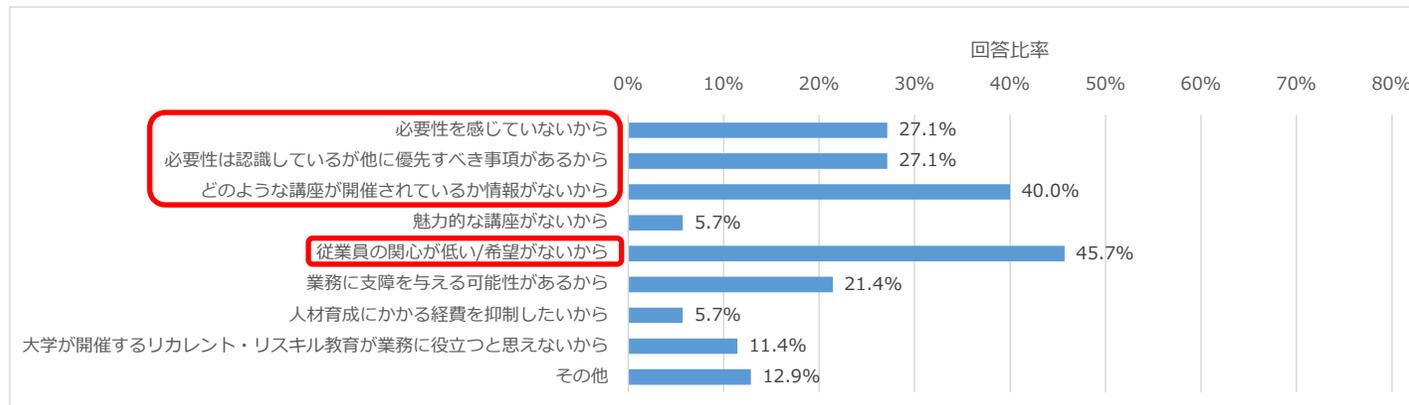
【人事担当 Q4】大学が開催するリカレント・リスキル教育について「Q3回答(関心あり)」と回答された理由として、あてはまるものをお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
従業員の生産性を向上させたいから	117	39.1%
従業員に現在の業務に必要なスキルを習得させたいから	118	39.5%
新規事業を開拓したいから	60	20.1%
若手の人材育成をしたいから	161	53.8%
経営層(候補)の育成をしたいから	60	20.1%
中高年のリスキリング(知識やスキルのアップデート)をしたいから	122	40.8%
従業員に今後の業務で必要になると見込まれるスキルを習得させたいから	160	53.5%
人材確保における他社との優位性を向上させたいから	77	25.8%
従業員の職種転換/配置転換をしたいから	22	7.4%
企業が成長していくためには社員のスキルアップが必要不可欠だから	212	70.9%
就学と就職を繰り返し、優秀な人材を育成したいから	48	16.1%
その他	9	3.0%
総計	299	100.0%

※Q3の回答が“関心がある”、“やや関心がある”が集計対象

【人事担当 Q5】大学が開催するリカレント・リスキル教育について「Q3回答(関心なし)」と回答された理由として、あてはまるものをお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
必要性を感じていないから	19	27.1%
必要性は認識しているが他に優先すべき事項があるから	19	27.1%
どのような講座が開催されているか情報がないから	28	40.0%
魅力的な講座がないから	4	5.7%
従業員の関心が低い/希望がないから	32	45.7%
業務に支障を与える可能性があるから	15	21.4%
人材育成にかかる経費を抑制したいから	4	5.7%
大学が開催するリカレント・リスキル教育が業務に役立つと思えないから	8	11.4%
その他	9	12.9%
総計	70	100.0%

※Q3の回答が“あまり関心がない”、“関心がない”が集計対象

4

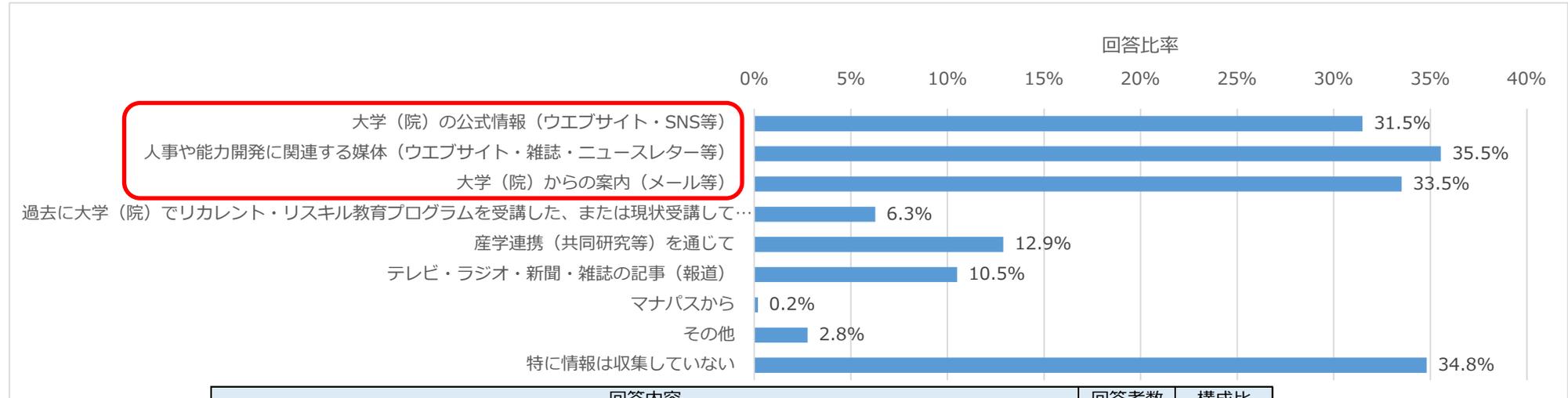
回答結果： 企業における取り組みや課題、 教育受講状況



情報収集の方法(②企業人事担当)

- 主な情報収集の方法は“大学(院)の公式情報”、“人事や能力開発に関連する媒体”、“大学(院)からの案内”など

【人事担当 Q6】あなたの勤務先において、大学が開催するリカレント・リスキル教育の情報の収集方法をお知らせください。



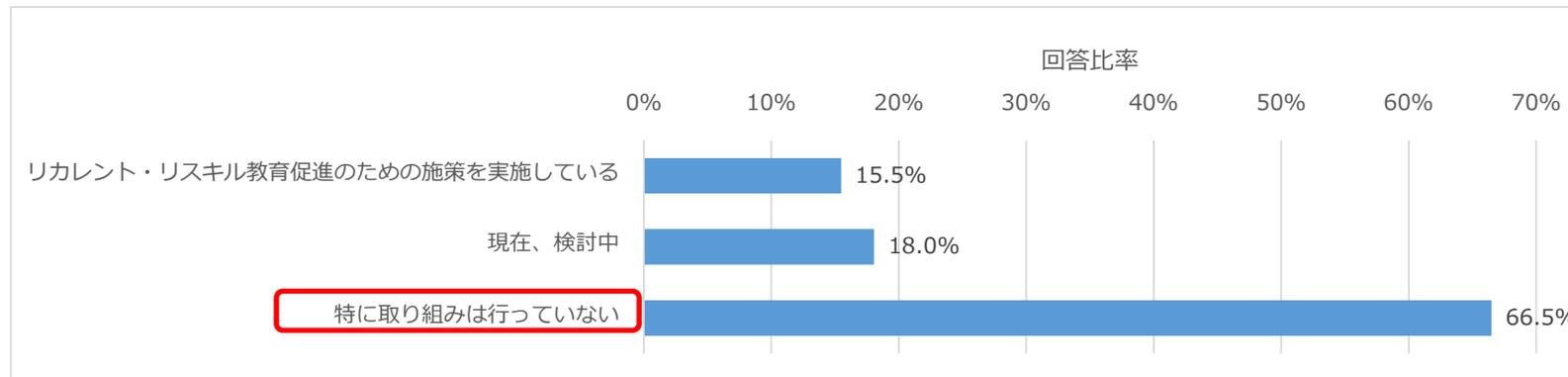
回答内容	回答者数	構成比
大学(院)の公式情報(ウェブサイト・SNS等)	171	31.5%
人事や能力開発に関連する媒体(ウェブサイト・雑誌・ニュースレター等)	193	35.5%
大学(院)からの案内(メール等)	182	33.5%
過去に大学(院)でリカレント・リスキル教育プログラムを受講した、または現状受講している従業員の口コミ	34	6.3%
産学連携(共同研究等)を通じて	70	12.9%
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の記事(報道)	57	10.5%
マナパスから	1	0.2%
その他	15	2.8%
特に情報は収集していない	189	34.8%
総計	543	100.0%

※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

取り組みの有無(②企業人事担当)

- 前述の通り、リカレント・リスキル教育に一定の関心が見られるが、実態として7割弱の企業で特段の取り組みは実施されていない

【人事担当 Q7】現在、あなたの勤務先でのリカレント・リスキル教育の取り組み内容をお知らせください。



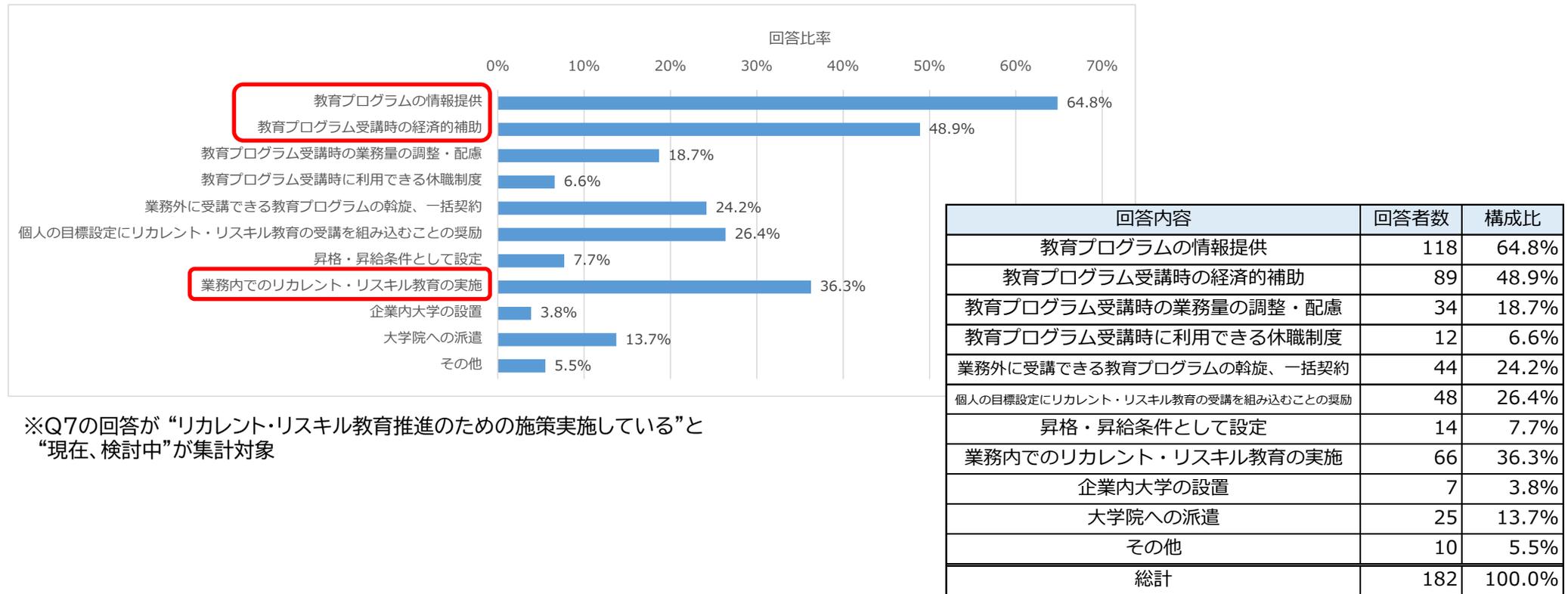
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

回答内容	回答者数	構成比
リカレント・リスキル教育促進のための施策を実施している	84	15.5%
現在、検討中	98	18.0%
特に取り組みは行っていない	361	66.5%
総計	543	100.0%

取り組みの内容(②企業人事担当)

- 実施中又は検討中の取り組みがある企業については、“教育プログラムの情報提供”や“教育プログラム受講時の経済的補助”、“業務内でのリカレント・リスキル教育の実施”などが多くなっている

【人事担当 Q8】あなたの勤務先での従業員のリカレント・リスキル教育支援・促進のための施策や制度をお知らせください。
現在検討中の場合、検討している施策内容をお知らせください。

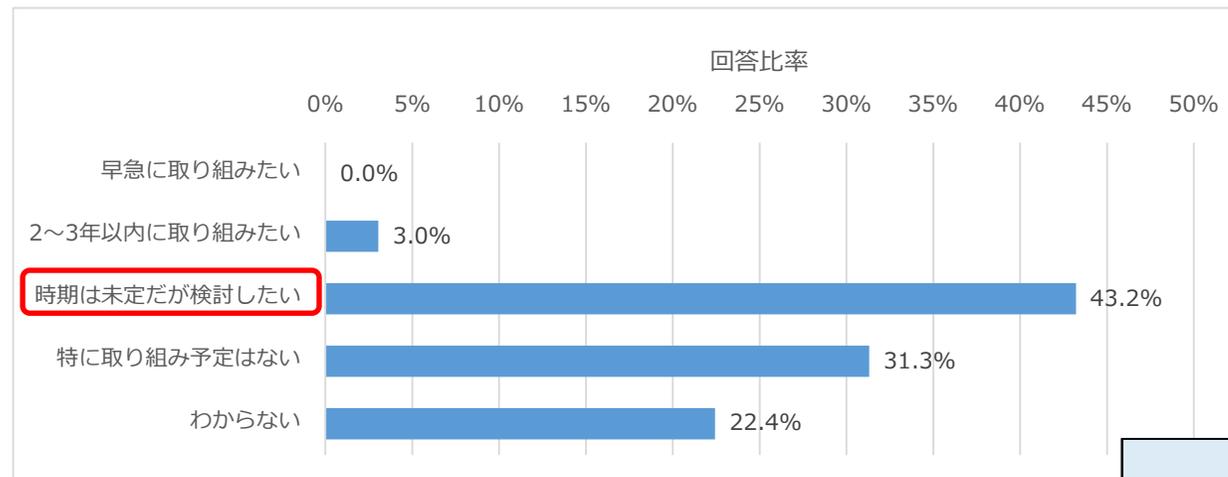


※Q7の回答が“リカレント・リスキル教育推進のための施策実施している”と“現在、検討中”が集計対象

今後の取り組み意向(②企業人事担当)

- 現状取り組みを行っていない企業においても、43.2%が“時期は未定だが検討したい”と回答

【人事担当 Q9】あなたの勤務先としての、今後のリカレント・リスキル教育への取り組みについて、
あてはまるものをお知らせください。



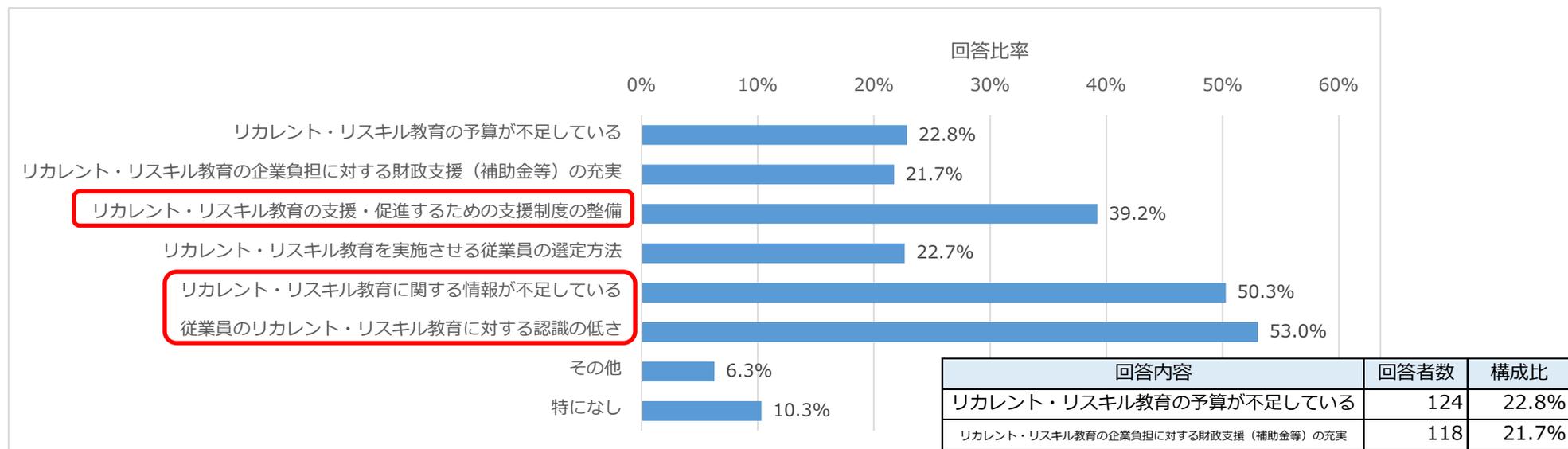
※Q7の回答が“特に取り組みは行っていない”が集計対象

回答内容	回答者数	構成比
早急に取り組みたい	0	0.0%
2～3年以内に取り組みたい	11	3.0%
時期は未定だが検討したい	156	43.2%
特に取り組み予定はない	113	31.3%
わからない	81	22.4%
総計	361	100.0%

リカレント・リスキル教育推進上の課題(②企業人事担当)

- 特に課題視されているものが“従業員のリカレント・リスキル教育に対する認識の低さ”や“リスキル教育・リスキル教育に関する情報が不足している”など
- 次いで“リカレント・リスキル教育の支援・促進するための支援制度の整備”などが多い

【人事担当 Q10】リカレント・リスキル教育を推進するための課題として感じていることをお知らせください。



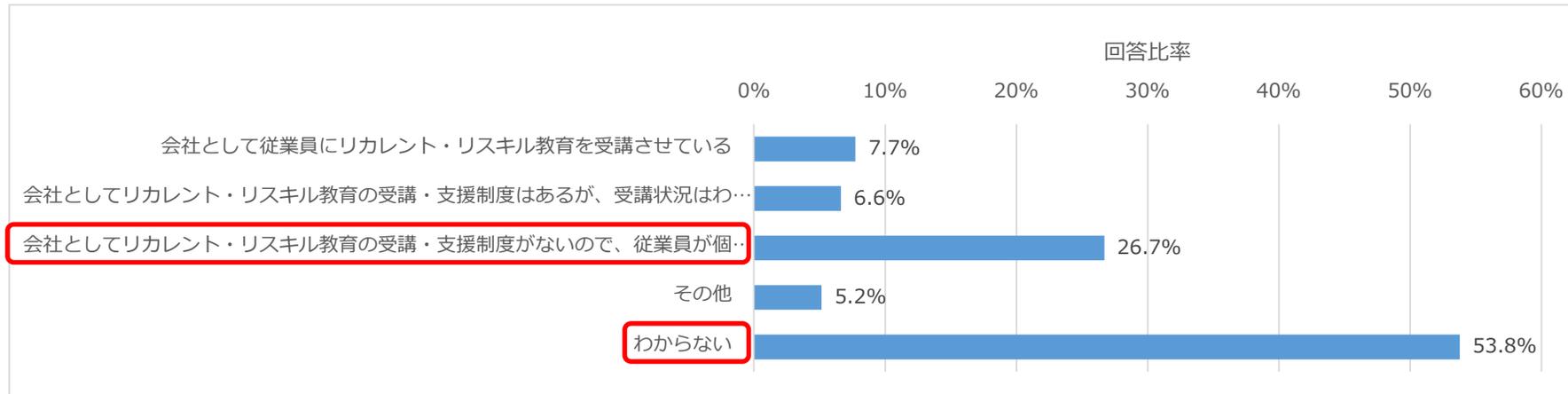
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

回答内容	回答者数	構成比
リカレント・リスキル教育の予算が不足している	124	22.8%
リカレント・リスキル教育の企業負担に対する財政支援（補助金等）の充実	118	21.7%
リカレント・リスキル教育の支援・促進するための支援制度の整備	213	39.2%
リカレント・リスキル教育を実施させる従業員の選定方法	123	22.7%
リカレント・リスキル教育に関する情報が不足している	273	50.3%
従業員のリカレント・リスキル教育に対する認識の低さ	288	53.0%
その他	34	6.3%
特になし	56	10.3%
総計	543	100.0%

従業員の受講状況(②企業人事担当)

- 53.8%が“わからない”と回答。また、26.7%が“会社としてのリカレント・リスキル教育の受講・支援制度がないので、従業員が個人で受講している”と回答

【人事担当 Q12】大学が開催するリカレント・リスキル教育について、従業員の受講状況をお知らせください。



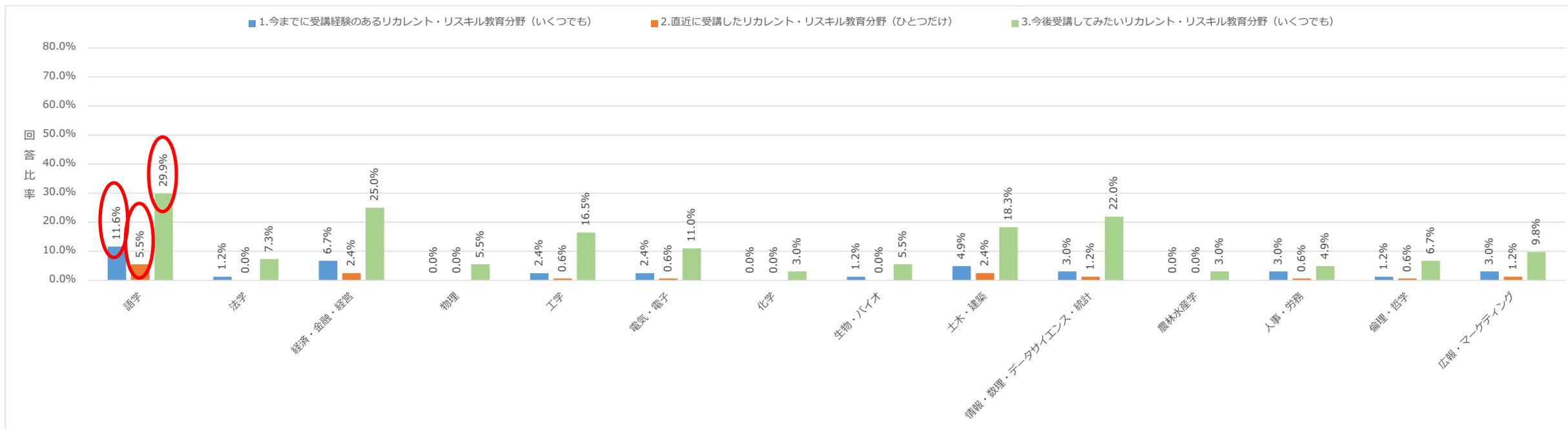
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

回答内容	回答者数	構成比
会社として従業員にリカレント・リスキル教育を受講させている	42	7.7%
会社としてリカレント・リスキル教育の受講・支援制度はあるが、受講状況はわからない	36	6.6%
会社としてリカレント・リスキル教育の受講・支援制度がないので、従業員が個人で受講している	145	26.7%
その他	28	5.2%
わからない	292	53.8%
総計	543	100.0%

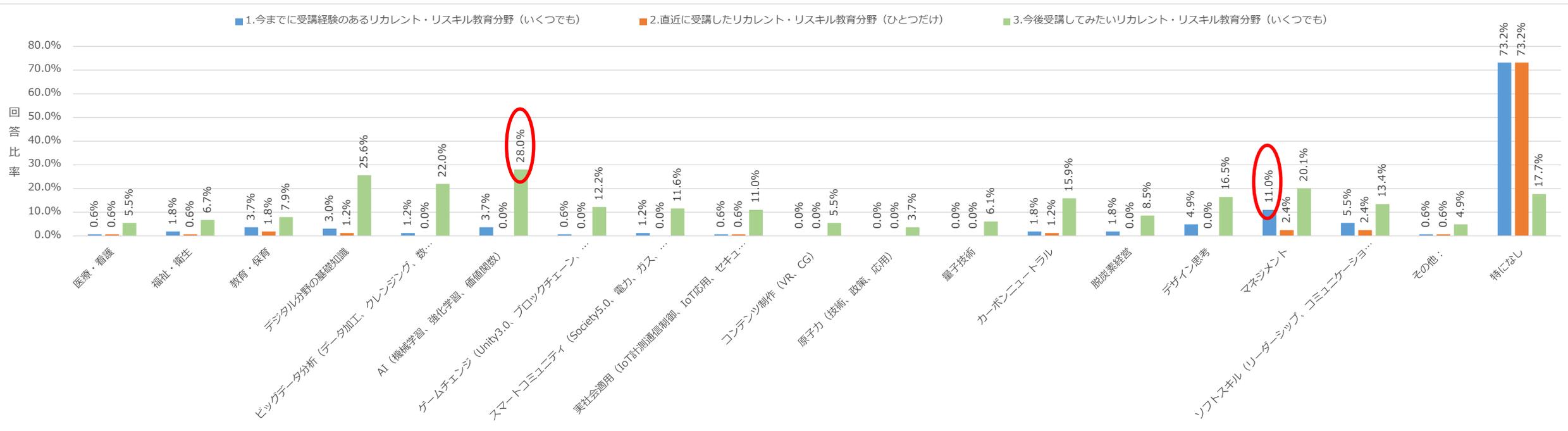
卒業生の受講済み及び今後受講したい分野 (①東京都市大学卒業生)

- 下図は過去の受講分野と今後受講したい分野(次ページに続く)

【卒業生 Q14】リカレント・リスキル教育について、それぞれあてはまるものを、お知らせください。



卒業生の受講済み及び今後受講したい分野 (①東京都市大学卒業生)



卒業生の受講済み及び今後受講したい分野 (①東京都市大学卒業生) ※数表

	回答者数計	語学	法学	経済・金融・経営	物理	工学	電気・電子	化学	生物・バイオ	土木・建築	情報・数理・データサイエンス・統計	農林水産学	人事・労務	倫理・哲学	広報・マーケティング	医療・看護	福祉・衛生	教育・保育	デジタル分野の基礎知識	ビッグデータ分析(データ加工、クレンジング、数理最適化)	AI(機械学習、強化学習、価値関数)	ゲームチェンジ(Unity3.0、ブロックチェーン、エネルギーのパラダイムシフト)	スマートコミュニティ(Sciety5.0、電力、水道、ビルマネジメント)	実社会適用(IoT計測通信制御、IoT応用、セキュリティ)	コンテンツ制作(VR、CG)	原子力(技術、政策、応用)	量子技術	カーボンニュートラル	脱炭素経営	デザイン思考	マネジメント	ソフトスキル(リーダーシップ、コミュニケーション)	その他:	特になし
1.今までに受講経験のあるリカレント・リスキル教育分野(いくつでも)	164	19	2	11	0	4	4	0	2	8	5	0	5	2	5	1	3	6	5	2	6	1	2	1	0	0	0	3	3	8	18	9	1	120
2.直近に受講したリカレント・リスキル教育分野(ひとつだけ)	164	9	0	4	0	1	1	0	0	4	2	0	1	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4	4	1	120
3.今後受講してみたいリカレント・リスキル教育分野(いくつでも)	164	49	12	41	9	27	18	5	9	30	36	5	8	11	16	9	11	13	42	36	46	20	19	18	9	6	10	26	14	27	33	22	8	29

	回答者数計	語学	法学	経済・金融・経営	物理	工学	電気・電子	化学	生物・バイオ	土木・建築	情報・数理・データサイエンス・統計	農林水産学	人事・労務	倫理・哲学	広報・マーケティング	医療・看護	福祉・衛生	教育・保育	デジタル分野の基礎知識	ビッグデータ分析(データ加工、クレンジング、数理最適化)	AI(機械学習、強化学習、価値関数)	ゲームチェンジ(Unity3.0、ブロックチェーン、エネルギーのパラダイムシフト)	スマートコミュニティ(Sciety5.0、電力、水道、ビルマネジメント)	実社会適用(IoT計測通信制御、IoT応用、セキュリティ)	コンテンツ制作(VR、CG)	原子力(技術、政策、応用)	量子技術	カーボンニュートラル	脱炭素経営	デザイン思考	マネジメント	ソフトスキル(リーダーシップ、コミュニケーション)	その他:	特になし
1.今までに受講経験のあるリカレント・リスキル教育分野(いくつでも)	100.0%	11.6%	1.2%	6.7%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	1.2%	4.9%	3.0%	0.0%	3.0%	1.2%	3.0%	0.6%	1.8%	3.7%	3.0%	1.2%	3.7%	0.6%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	4.9%	11.0%	5.5%	0.6%	73.2%
2.直近に受講したリカレント・リスキル教育分野(ひとつだけ)	100.0%	5.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	2.4%	1.2%	0.0%	0.6%	0.6%	1.2%	0.6%	0.6%	1.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.6%	73.2%
3.今後受講してみたいリカレント・リスキル教育分野(いくつでも)	100.0%	29.9%	7.3%	25.0%	5.5%	16.5%	11.0%	3.0%	5.5%	18.3%	22.0%	3.0%	4.9%	6.7%	9.8%	5.5%	6.7%	7.9%	25.6%	22.0%	28.0%	12.2%	11.6%	11.0%	5.5%	3.7%	6.1%	15.9%	8.5%	16.5%	20.1%	13.4%	4.9%	17.7%

5

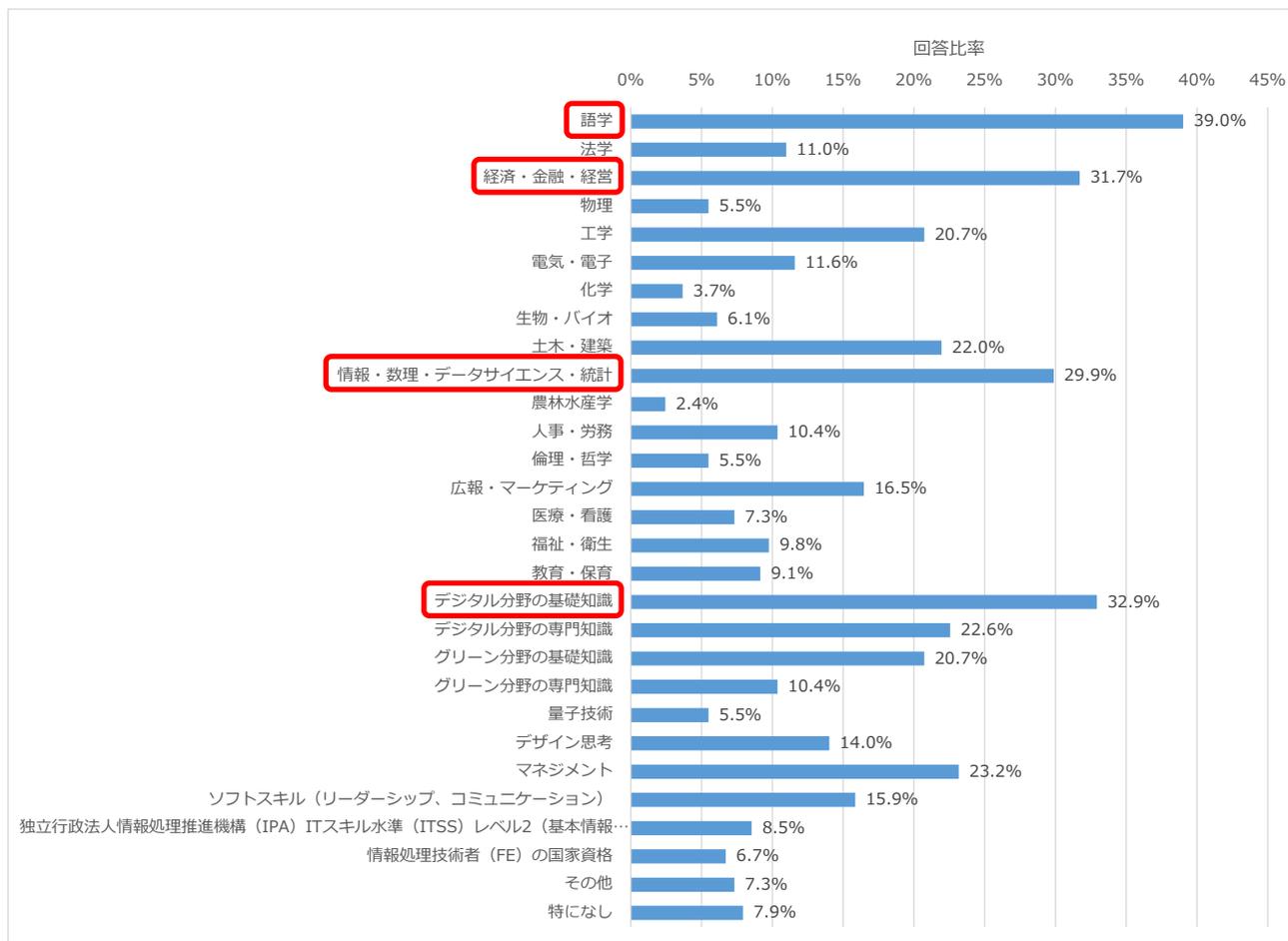
回答結果：
獲得したい/させたい
知識やスキルの分野



獲得したい知識やスキルの分野(①東京都市大学卒業生)

- 最も多いのは“語学”で39.0%、次いで“デジタル分野の基礎知識”が32.9%、“経済・金融・経営”が31.7%、“情報・数理・データサイエンス・統計”が29.9%となっている

【卒業生 Q13】現在、あなたが習得したいスキルや知識の分野お知らせください。

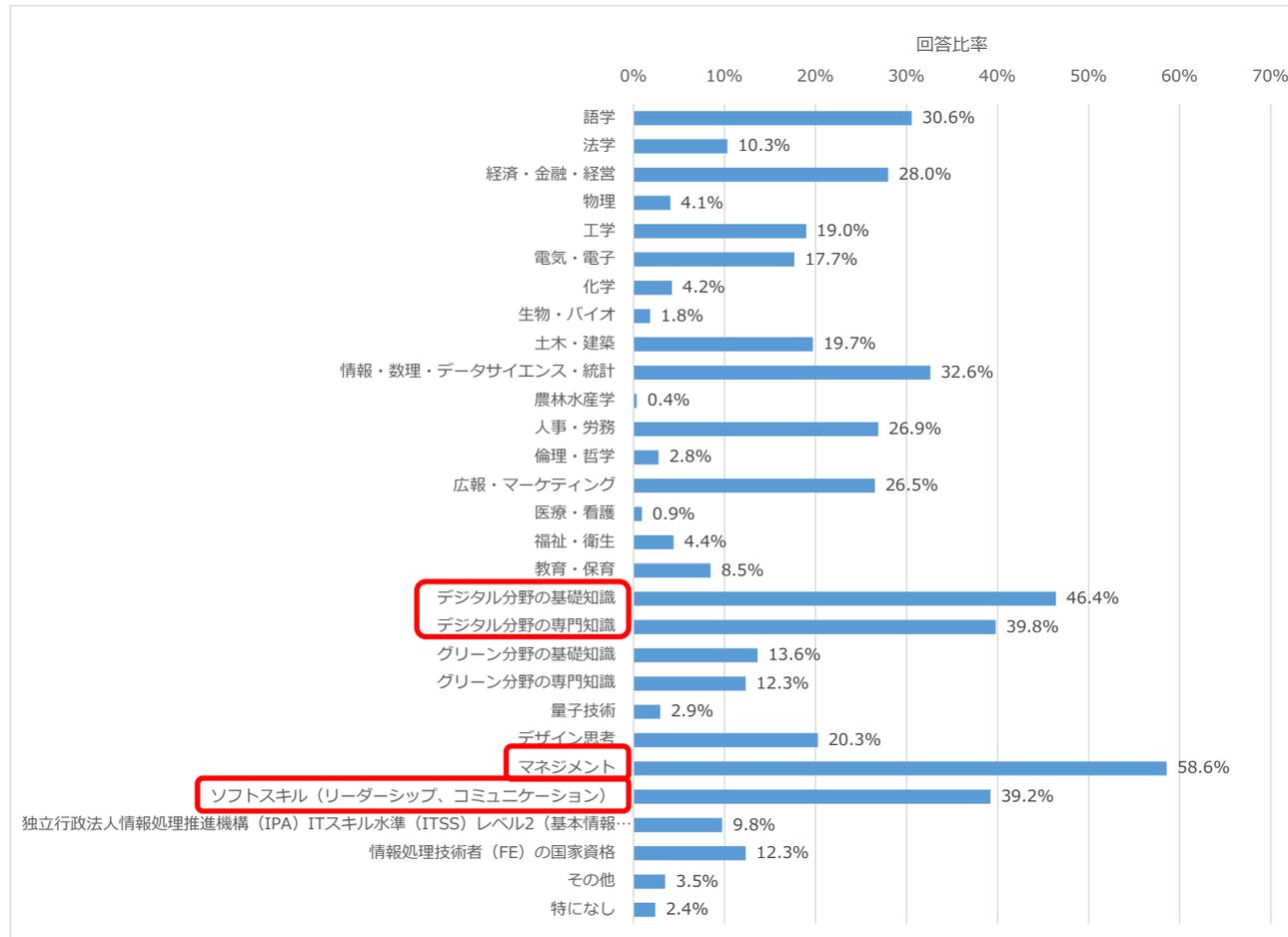


回答内容	回答者数	構成比
語学	64	39.0%
法学	18	11.0%
経済・金融・経営	52	31.7%
物理	9	5.5%
工学	34	20.7%
電気・電子	19	11.6%
化学	6	3.7%
生物・バイオ	10	6.1%
土木・建築	36	22.0%
情報・数理・データサイエンス・統計	49	29.9%
農林水産学	4	2.4%
人事・労務	17	10.4%
倫理・哲学	9	5.5%
広報・マーケティング	27	16.5%
医療・看護	12	7.3%
福祉・衛生	16	9.8%
教育・保育	15	9.1%
デジタル分野の基礎知識	54	32.9%
デジタル分野の専門知識	37	22.6%
グリーン分野の基礎知識	34	20.7%
グリーン分野の専門知識	17	10.4%
量子技術	9	5.5%
デザイン思考	23	14.0%
マネジメント	38	23.2%
ソフトスキル (リーダーシップ、コミュニケーション)	26	15.9%
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) ITスキル水準 (ITSS) レベル2 (基本情報技術者) の国家資格	14	8.5%
情報処理技術者 (FE) の国家資格	11	6.7%
その他	12	7.3%
特になし	13	7.9%
総計	164	100.0%

獲得させたい知識やスキルの分野(②企業人事担当)

- 最も多いのは“マネジメント”で58.6%、次いで“デジタル分野の基礎知識”が46.4%、“デジタル分野の専門知識”が39.8%、“ソフトスキル(リーダーシップ、コミュニケーション)”が39.2%となっている

【人事担当 Q11】従業員に習得・向上させたいスキルや知識の分野をお知らせください。



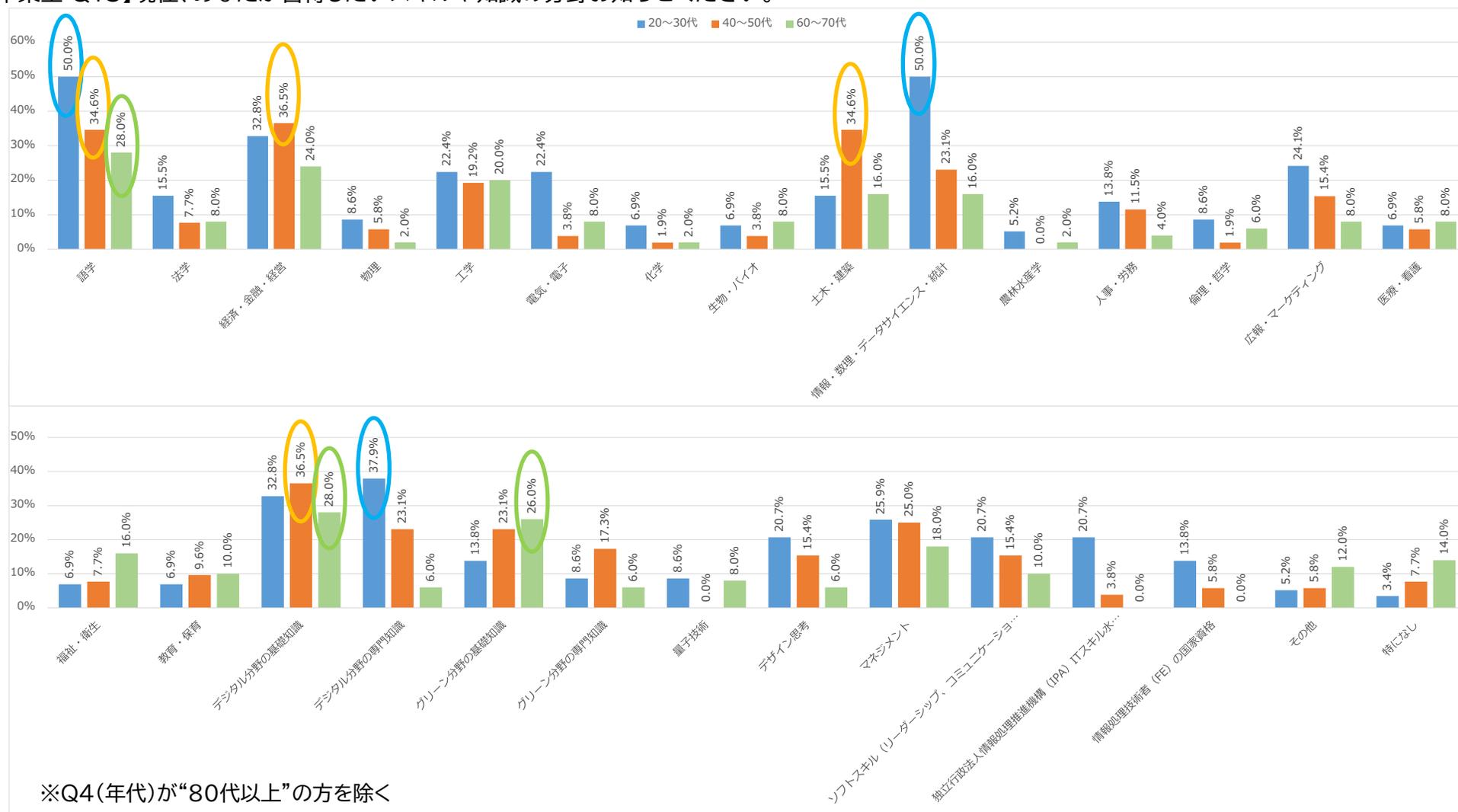
回答内容	回答者数	構成比
語学	166	30.6%
法学	56	10.3%
経済・金融・経営	152	28.0%
物理	22	4.1%
工学	103	19.0%
電気・電子	96	17.7%
化学	23	4.2%
生物・バイオ	10	1.8%
土木・建築	107	19.7%
情報・数理・データサイエンス・統計	177	32.6%
農林水産学	2	0.4%
人事・労務	146	26.9%
倫理・哲学	15	2.8%
広報・マーケティング	144	26.5%
医療・看護	5	0.9%
福祉・衛生	24	4.4%
教育・保育	46	8.5%
デジタル分野の基礎知識	252	46.4%
デジタル分野の専門知識	216	39.8%
グリーン分野の基礎知識	74	13.6%
グリーン分野の専門知識	67	12.3%
量子技術	16	2.9%
デザイン思考	110	20.3%
マネジメント	318	58.6%
ソフトスキル(リーダーシップ、コミュニケーション)	213	39.2%
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)ITスキル水準(ITSS)レベル2(基本情報技術者)	53	9.8%
情報処理技術者(FE)の国家資格	67	12.3%
その他	19	3.5%
特になし	13	2.4%
総計	543	100.0%

※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

獲得したい知識やスキルの分野 (①東京都市大学卒業生) ※年代別

● 年代により、卒業生が習得したいスキル・知識の分野は異なる

【卒業生 Q13】現在、あなたが習得したいスキルや知識の分野お知らせください。



※Q4(年代)が“80代以上”の方を除く

獲得したい知識やスキルの分野 (①東京都市大学卒業生) ※年代別・数表

	回答者数計	語学	法学	経済・金融・経営	物理	工学	電気・電子	化学	生物・バイオ	土木・建築	情報・数理・データサイエンス・統計	農林水産学	人事・労務	倫理・哲学	広報・マーケティング	医療・看護	福祉・衛生	教育・保育	デジタル分野の基礎知識	デジタル分野の専門知識	グリーン分野の基礎知識	グリーン分野の専門知識	量子技術	デザイン思考	マネジメント	ソフトウェア（リーダーシップ）、コミュニケーション	独立行政法人情報処理推進機構（IPPA）ITスキル水準（ITSS）レベル2（基本情報技術者資格）	情報処理技術者（FE）の国家資格	その他	特になし
20~30代	58	29	9	19	5	13	13	4	4	9	29	3	8	5	14	4	4	4	19	22	8	5	5	12	15	12	12	8	3	2
40~50代	52	18	4	19	3	10	2	1	2	18	12	0	6	1	8	3	4	5	19	12	12	9	0	8	13	8	2	3	3	4
60~70代	50	14	4	12	1	10	4	1	4	8	8	1	2	3	4	4	8	5	14	3	13	3	4	3	9	5	0	0	6	7
総計	160	61	17	50	9	33	19	6	10	35	49	4	16	9	26	11	16	14	52	37	33	17	9	23	37	25	14	11	12	13

年代	回答者数計	語学	法学	経済・金融・経営	物理	工学	電気・電子	化学	生物・バイオ	土木・建築	情報・数理・データサイエンス・統計	農林水産学	人事・労務	倫理・哲学	広報・マーケティング	医療・看護	福祉・衛生	教育・保育	デジタル分野の基礎知識	デジタル分野の専門知識	グリーン分野の基礎知識	グリーン分野の専門知識	量子技術	デザイン思考	マネジメント	ソフトウェア（リーダーシップ）、コミュニケーション	独立行政法人情報処理推進機構（IPPA）ITスキル水準（ITSS）レベル2（基本情報技術者資格）	情報処理技術者（FE）の国家資格	その他	特になし
20~30代	100.0%	50.0%	15.5%	32.8%	8.6%	22.4%	22.4%	6.9%	6.9%	15.5%	50.0%	5.2%	13.8%	8.6%	24.1%	6.9%	6.9%	6.9%	32.8%	37.9%	13.8%	8.6%	8.6%	20.7%	25.9%	20.7%	20.7%	13.8%	5.2%	3.4%
40~50代	100.0%	34.6%	7.7%	36.5%	5.8%	19.2%	3.8%	1.9%	3.8%	34.6%	23.1%	0.0%	11.5%	1.9%	15.4%	5.8%	7.7%	9.6%	36.5%	23.1%	23.1%	17.3%	0.0%	15.4%	25.0%	15.4%	3.8%	5.8%	7.7%	
60~70代	100.0%	28.0%	8.0%	24.0%	2.0%	20.0%	8.0%	2.0%	8.0%	16.0%	16.0%	2.0%	4.0%	6.0%	8.0%	8.0%	16.0%	10.0%	28.0%	6.0%	26.0%	6.0%	8.0%	6.0%	18.0%	10.0%	0.0%	0.0%	12.0%	14.0%
総計	100.0%	38.1%	10.6%	31.3%	5.6%	20.6%	11.9%	3.8%	6.3%	21.9%	30.6%	2.5%	10.0%	5.6%	16.3%	6.9%	10.0%	8.8%	32.5%	23.1%	20.6%	10.6%	5.6%	14.4%	23.1%	15.6%	8.8%	6.9%	7.5%	8.1%

6

回答結果： プログラムへの要望

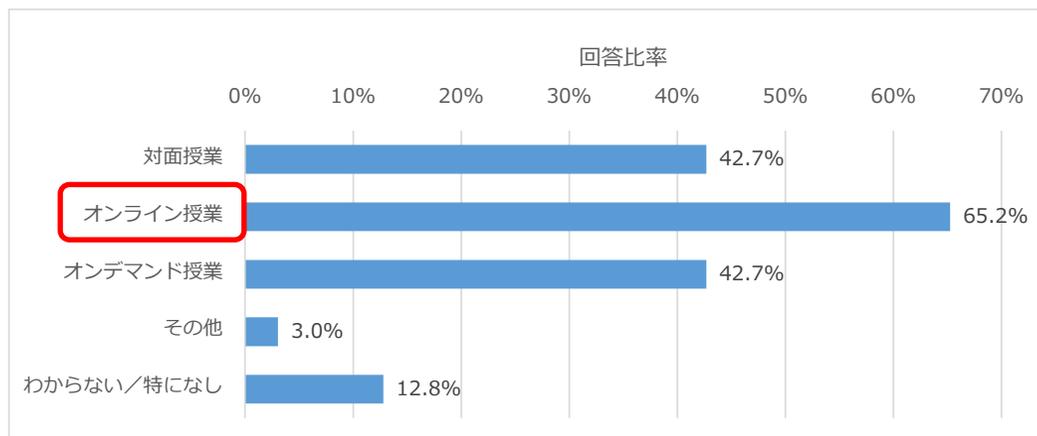


受講方法の希望

(①東京都市大学卒業生/②企業人事担当)

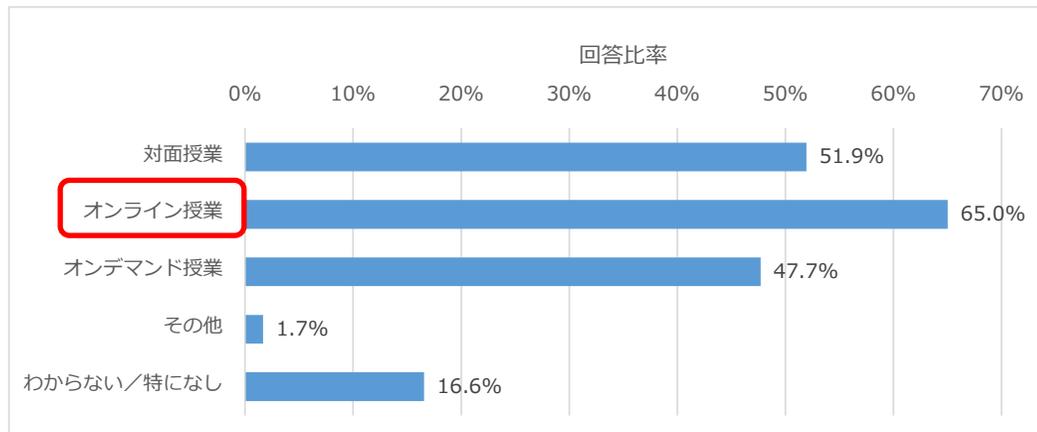
- 卒業生と人事担当で似通っており、最も要望が高いのが“オンライン授業”（いずれも約65%）

【卒業生 Q15】今後、あなたが大学で開催するリカレント・リスキル教育を受講する場合、希望する受講方法をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
対面授業	70	42.7%
オンライン授業	107	65.2%
オンデマンド授業	70	42.7%
その他	5	3.0%
わからない/特になし	21	12.8%
総計	164	100.0%

【人事担当Q13】大学が開催するリカレント・リスキル教育を従業員に受講させる場合、希望する受講方法をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
対面授業	282	51.9%
オンライン授業	353	65.0%
オンデマンド授業	259	47.7%
その他	9	1.7%
わからない/特になし	90	16.6%
総計	543	100.0%

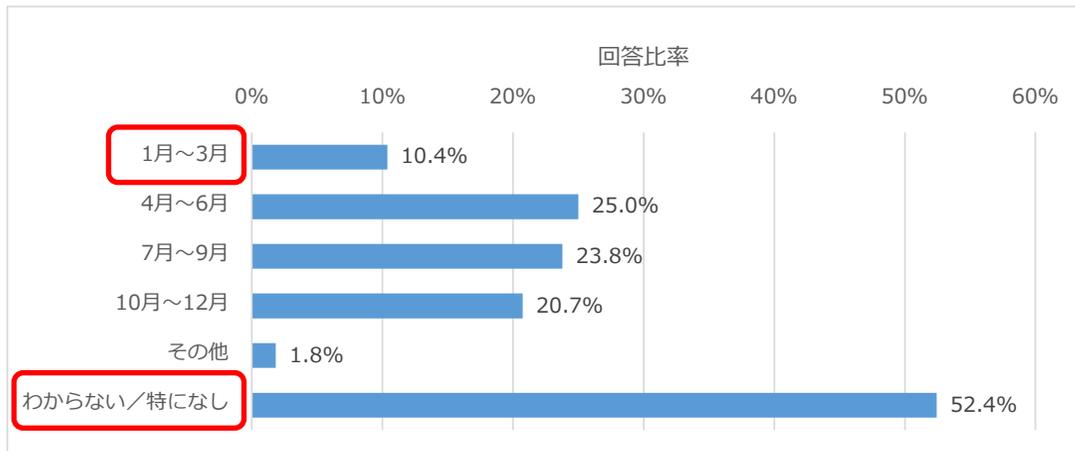
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

受講時期の希望

(①東京都市大学卒業生/②企業人事担当)

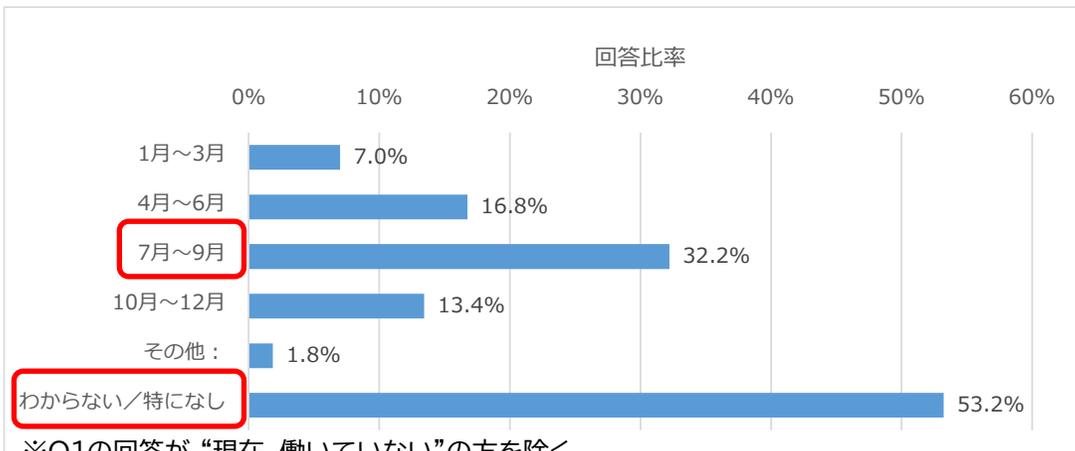
- 卒業生と人事担当いずれも、“わからない／特になし”が最も多い
(卒業生では1月～3月が若干低く、企業人事担当では7月～9月が若干高い)

【卒業生 Q16】今後、あなたが大学で開催するリカレント・リスキル教育を受講する場合、希望する受講時期をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
1月～3月	17	10.4%
4月～6月	41	25.0%
7月～9月	39	23.8%
10月～12月	34	20.7%
その他	3	1.8%
わからない／特になし	86	52.4%
総計	164	100.0%

【人事担当 Q14】大学が開催するリカレント・リスキル教育を従業員に受講させる場合、希望する受講時期をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
1月～3月	38	7.0%
4月～6月	91	16.8%
7月～9月	175	32.2%
10月～12月	73	13.4%
その他	10	1.8%
わからない／特になし	289	53.2%
総計	543	100.0%

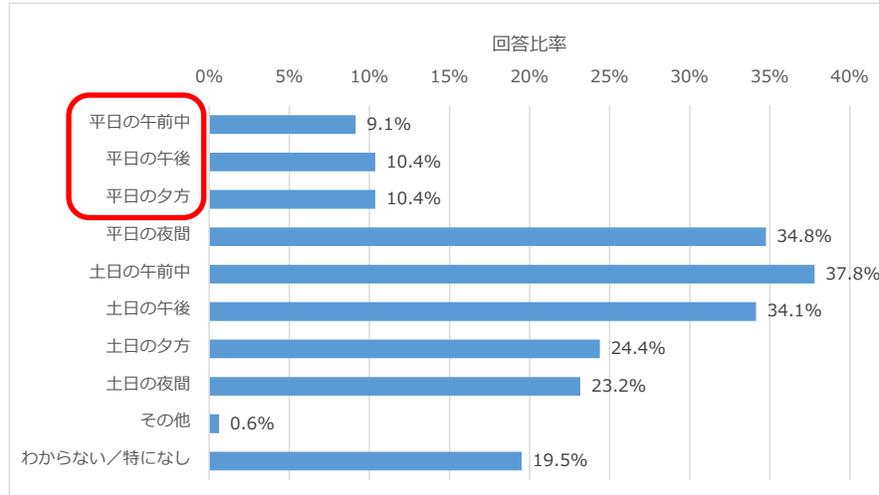
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

受講日と時間帯の希望

(①東京都市大学卒業生/②企業人事担当)

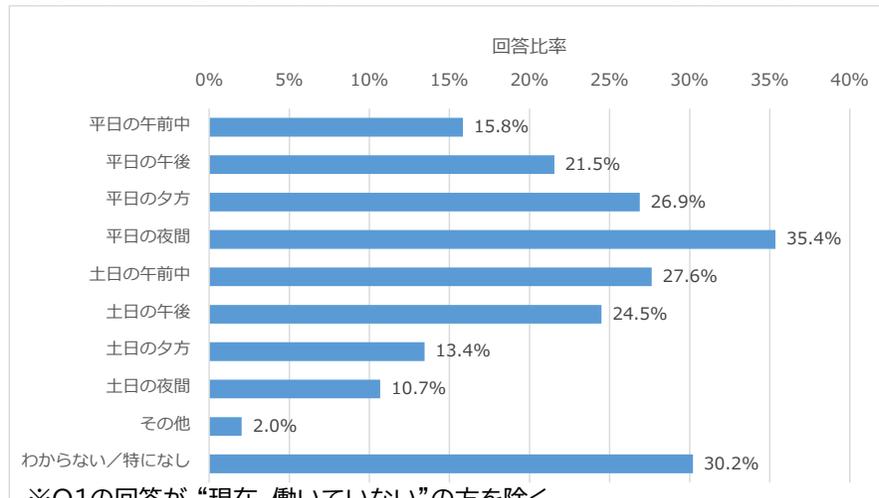
- 卒業生においては、基本的には平日の日中は避けたい傾向が見られる

【卒業生 Q17】今後、あなたがリカレント・リスキル教育を受講する場合、希望する受講曜日や時間帯をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
平日の午前中	15	9.1%
平日の午後	17	10.4%
平日の夕方	17	10.4%
平日の夜間	57	34.8%
土日の午前中	62	37.8%
土日の午後	56	34.1%
土日の夕方	40	24.4%
土日の夜間	38	23.2%
その他	1	0.6%
わからない/特になし	32	19.5%
総計	164	100.0%

【人事担当 Q15】大学が開催するリカレント・リスキル教育を従業員に受講させる場合、希望する受講日・時間帯をお知らせください。



回答内容	回答者数	構成比
平日の午前中	86	15.8%
平日の午後	117	21.5%
平日の夕方	146	26.9%
平日の夜間	192	35.4%
土日の午前中	150	27.6%
土日の午後	133	24.5%
土日の夕方	73	13.4%
土日の夜間	58	10.7%
その他	11	2.0%
わからない/特になし	164	30.2%
総計	543	100.0%

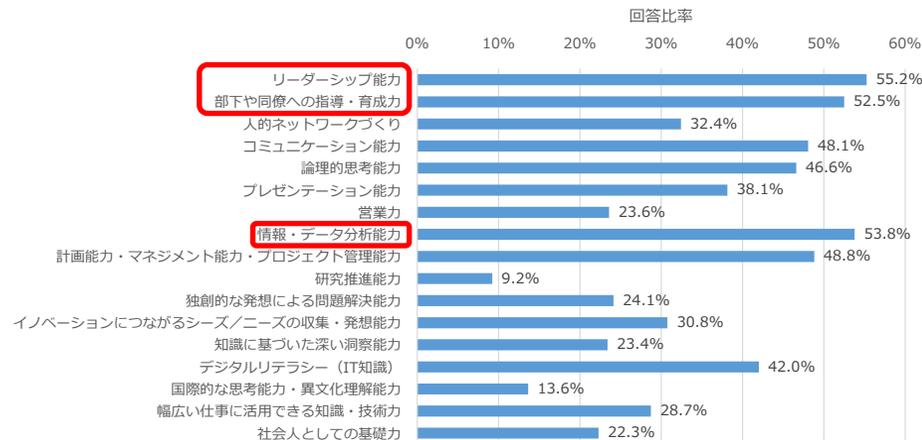
※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く

大学のプログラムへの希望(②企業人事担当)

● 下記はプログラムの各種要素への要望

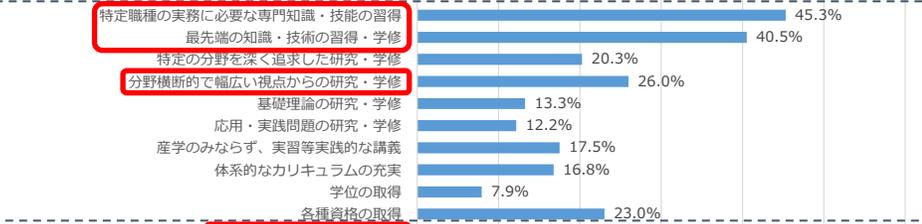
【人事担当 Q16】大学が開催するリカレント・リスキル教育に対して、期待するスキルやプログラム内容、制度や環境についてあてはまるものをお知らせください。

【期待する
スキル】

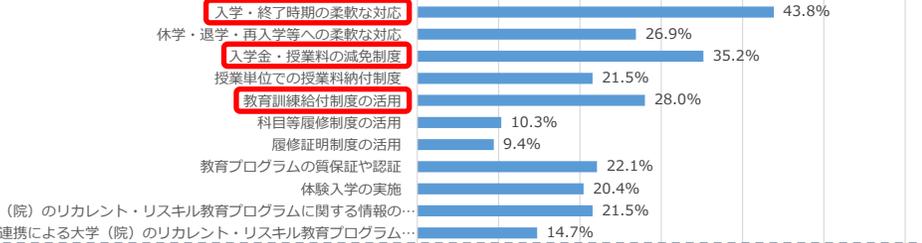


回答内容	回答者数	構成比
リーダーシップ能力	300	55.2%
部下や同僚への指導・育成力	285	52.5%
人的ネットワークづくり	176	32.4%
コミュニケーション能力	261	48.1%
論理的思考能力	253	46.6%
プレゼンテーション能力	207	38.1%
営業力	128	23.6%
情報・データ分析能力	292	53.8%
計画能力・マネジメント能力・プロジェクト管理能力	265	48.8%
研究推進能力	50	9.2%
独創的な発想による問題解決能力	131	24.1%
イノベーションにつながるシーズ/ニーズの収集・発想能力	167	30.8%
知識に基づいた深い洞察能力	127	23.4%
デジタルリテラシー (IT知識)	228	42.0%
国際的な思考能力・異文化理解能力	74	13.6%
幅広い仕事に活用できる知識・技術力	156	28.7%
社会人としての基礎力	121	22.3%

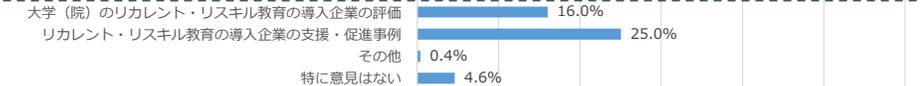
【期待する
プログラム】



【期待する
制度や環境等】



【その他】



産学のみならず、実習等実践的な講義	95	17.5%
体系的なカリキュラムの充実	91	16.8%
学位の取得	43	7.9%
各種資格の取得	125	23.0%
入学・終了時期の柔軟な対応	238	43.8%
休学・退学・再入学等への柔軟な対応	146	26.9%
入学金・授業料の減免制度	191	35.2%
授業単位での授業料納付制度	117	21.5%
教育訓練給付制度の活用	152	28.0%
科目等履修制度の活用	56	10.3%
履修証明制度の活用	51	9.4%
教育プログラムの質保証や認証	120	22.1%
体験入学の実施	111	20.4%
大学(院)のリカレント・リスキル教育プログラムに関する情報の...	117	21.5%
産学連携による大学(院)のリカレント・リスキル教育プログラム...	80	14.7%
大学(院)のリカレント・リスキル教育の導入企業の評価	87	16.0%
リカレント・リスキル教育の導入企業の支援・促進事例	136	25.0%
その他	2	0.4%
特に意見はない	25	4.6%
総計	543	100.0%

※Q1の回答が“現在、働いていない”の方を除く